

コロナ禍の影響に関する県民意識調査 報告書

2021年7月

(一社)連合栃木総合生活研究所

(1)調査地域：栃木県(県内をA～Eの5ブロックに分けて調査)

(2)調査方法：インターネット調査

(3)調査対象：県内在住の20～64歳の有職者(パート・アルバイト・自営業・会社役員含む)

(4)調査対象者数:1000サンプル

男性:20代= 89 女性:20代=111

男性:30代=104 女性:30代=112

男性:40代=103 女性:40代=117

男性:50代=102 女性:50代=114

男性:60代=102 女性:60代= 46

(5)調査ブロック別対象者数:A=200、B=200、C=200、D=200、E=200

※ブロック=栃木県衆議院選挙区を想定(ただし完全に一致はしない)A=栃木1区、B=栃木2区、C=栃木3区、D=栃木5区、E=栃木4区

A=宇都宮市、上三川町

B=大田原市・那須塩原市・矢板市・那須烏山市・那須町・那珂川町

C=日光市・さくら市・鹿沼市・高根沢町・塩谷町

D=足利市・佐野市

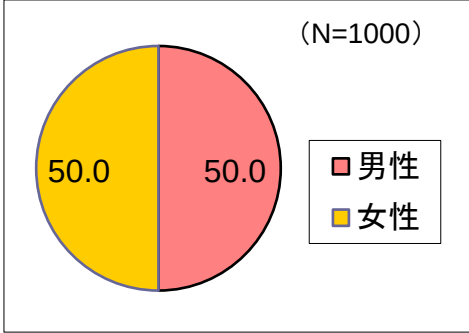
E =小山市・栃木市・下野市・壬生町・野木町・真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町

(6)対象者招集方法:(株)ドウ・ハウスに委託しWEBモニターより抽出

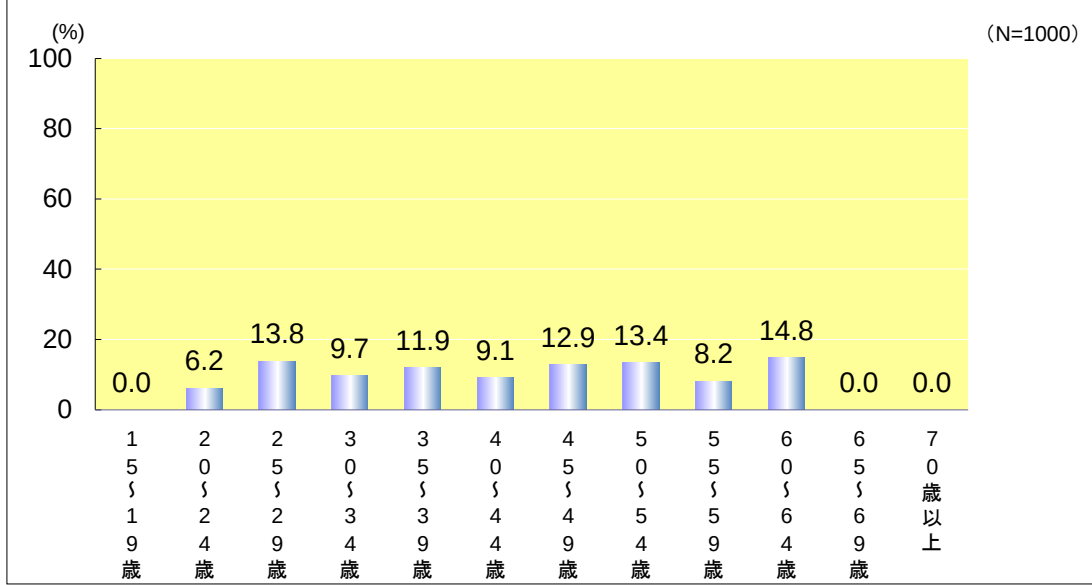
(7)調査期間:スクリーニング調査=2021年7月5日(月)

本調査=2021年7月6日(火)～11日(日)

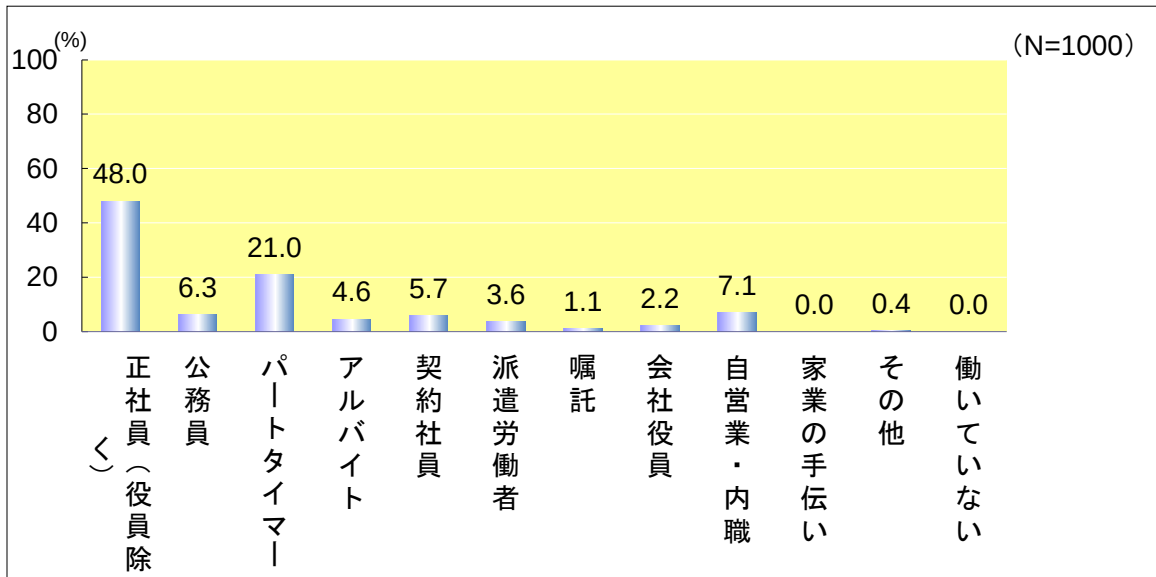
性別



年代別(5歳刻み)



職業別



調査結果のポイント①

- 新型コロナウイルス発生前(概ね2020年末以前)と現在を比べた、県内の景気動向について『悪くなっている』と感じている労働者は、54.6%と半数以上となった。『良くなっている』は5%程度にとどまり、「変わらない」が27.5%、「わからない」が12.7%であった。
- 職種別では『悪くなっている』が6割を超えたのは、「派遣労働者」(63.9%)、「会社役員」(63.6%)、「自営業・内職」(63.4%)である。
- 年代別でみると、年齢があがると『悪くなった』と感じる割合が大きくなる傾向にある。(P7-P8)

- 1年後の県内景気見通しについて、『良くなる』が25.0%で『悪くなる』の21.3%をやや上回った。職業別にみると「会社役員」で「かなり悪くなる」(31.8%)が3割を超えている。
- 男女別では「かなり悪くなる」で「男性」(10.2%)が「女性」(5.0%)よりも5ポイント程度高くなっている。
- 年代別の「60代」では『良くなる』が3割を超えている。また「30代」の「変わらない」(46.3%)も比較的高い。(P9-P10)

- コロナ前と比べた暮らし向き、経済的な豊かさについて、全体では『豊かになった』の4.7%に対して『苦しくなった』は45.4%と4割を超えている。
- 職業別では『苦しくなった』の割合が5割を超えたのは、「パートタイマー」(51.9%)、「アルバイト」(52.2%)、「派遣労働者」(58.3%)、「自営業・内職」(67.6%)である。「公務員」の「変わらない」(61.9%)は6割を超え、多職業より多い。(P11-P12)

- 1年後の暮らし向きは経済的にどうなると思うかときいたところ、全体では『良くなる』が16.1%に対して、『悪くなる』が23.7%、「変わらない」は半数の49.6%であった。
- 「派遣労働者」の『良くなる』は25.0%で全体よりも高いが、『悪くなる』も36.1%と比較的高い。「自営業・内職」の『良くなる』は8.5%で1割未満となり、『悪くなる』は35.2%で3割を超える。
- 「20代」は22.9%が『良くなる』としているが、「60代」の『良くなる』は11.5%と10ポイント以上開きがある。年代が高くなると、『良くなる』と見通している割合は低くなっている。(P13-P14)

- コロナ禍前と比べた居住する自治体施策では、「医療・保健衛生」の『良くなった』は29.9%で比較的高い。『悪くなった』が比較的高いのは、「文化・スポーツ振興」(27.7%)、「就労」(34.8%)、「産業・観光振興」(38.2%)などである。(P15-P18)

- 「仕事にやるがいがあるか」について、「そう思っている」(39.0%)が「そう思わない」(23.2%)を上回る。
- 「仕事に見合った賃金か」について、「そう思っている」(21.2%)が「そう思わない」(39.0%)を下回る。
- 「サービス残業・未払い賃金がある」について、全体「そう思っている」は13.3%と1割程度だが、「公務員」は28.6%となり、やや高い。
- 「勤務先の将来に不安がある」について、「そう思っている」(27.9%)は3割近くいる。
- 「解雇・雇い止めの不安がある」について、全体の「そう思っている」は13.9%と1割程度だが、「派遣労働者」は30.6%で3割となっている。(P19-P23)

●コロナ禍における仕事での孤立感をは20.3%が「感じる」とし、『感じていない』は54.1%であった。一方で、私生活での孤立感は、21.3%が「感じる」とし、『感じていない』は52.8%となり、ほぼ同様の割合となっている。女性は、仕事での孤立感60.2%が『感じていない』とし、男性47.6%よりも10ポイント以上高い。
(P24-P25)

●職場での困りごとをどこに相談するか(複数回答)では、「家族や友人、知人」が64.6%、「勤務先の上司や同僚」が32.3%、「行政の相談窓口」が8.4%、「勤め先の相談窓口」が6.9%、「勤め先の労働組合」が4.7%となっている。職業別で「勤め先の労働組合」が比較的高いのは「正社員」の7.7%であった。「1人でも加入できる労働組合の相談窓口」は全体でも1.2%にとどまる。
(P26-P27)

●第49回衆院選(2021年施行)の投票予定について、57.9%が『投票に行く予定』としており、13.1%が投票先も決めていると回答した。『投票に行く予定』としたのは、「60代」で80.4%であったが、「20代」は44.5%と開きが大きい。また、「男性」で64.0%が『投票に行く予定』としているが、「女性」は51.8%と10ポイント以上低い。地域(ブロック)別では、日光市などのBブロックが『投票に行く予定』が63.5%と高く、『投票先も決めている』も17.5%と比較的高い。
(P28-P29)

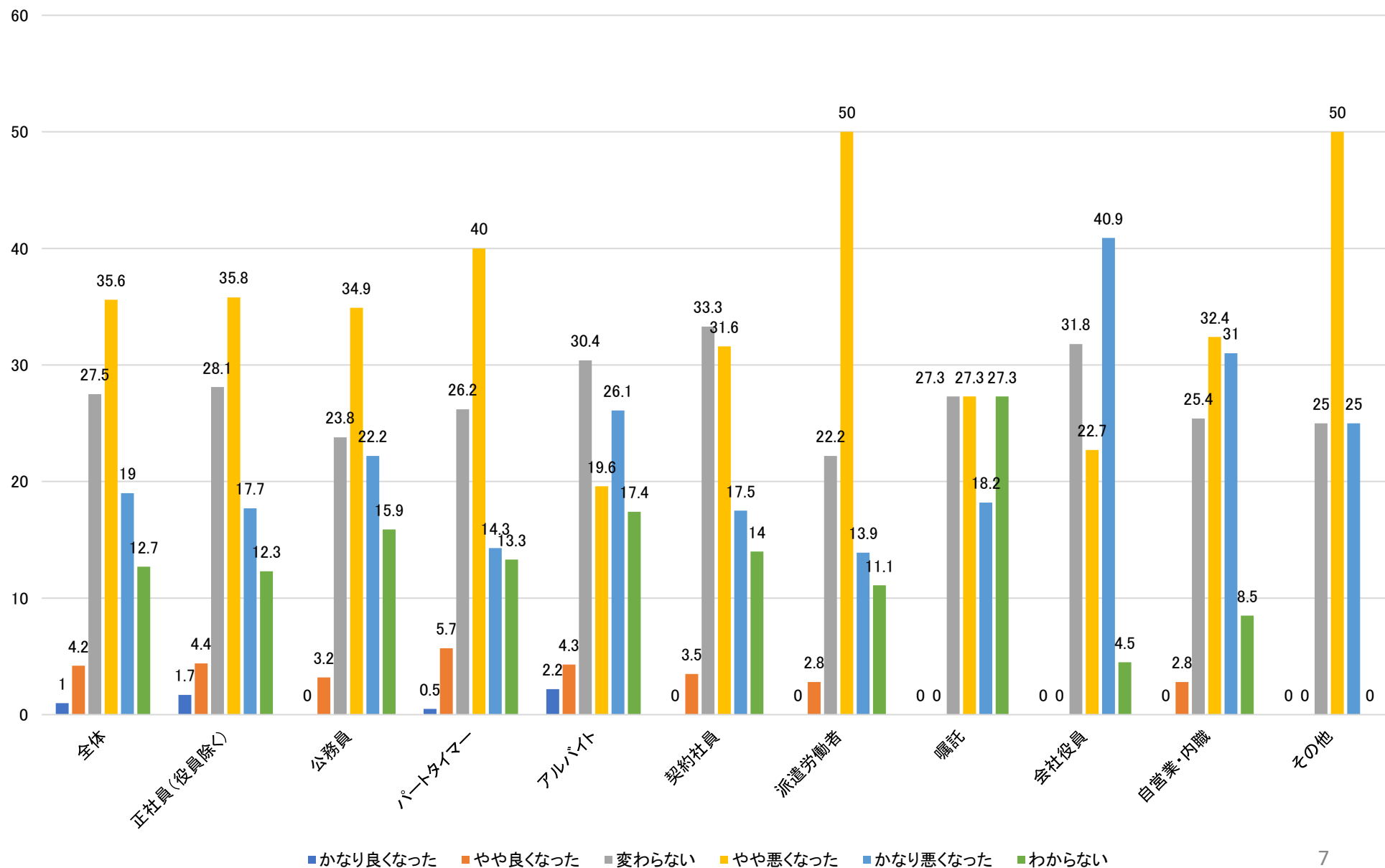
●第49回衆院選(2021年施行)投票の際に重視する政策について、最も多いのは「景気・雇用対策」で61.8%であった。次いで、「年金・医療・介護」(59.6%)、「新型コロナウイルス対策」(49.9%)、「税制改革」(40.2%)、「子育て支援」(32.0%)となっている。

●年代別でも、上位5つには同様の傾向が見られるが、「50代」では「政治のカネ」(26.0%)、60代では「防災減災政策」(25.2%)が入ってくる。

●コロナ禍での選挙が予想されるため、新型コロナウイルス対策は当然であろうが、それ以上に「景気・雇用対策」を重視する傾向にあるようだ。
(P30-P32)

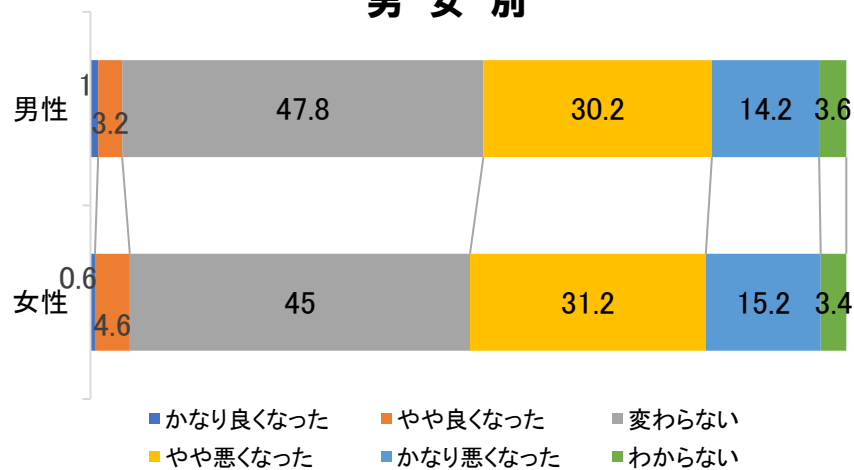
調査結果の詳細

(1) コロナ発生前と比べた県内景気の変化 ―全体・職業別―

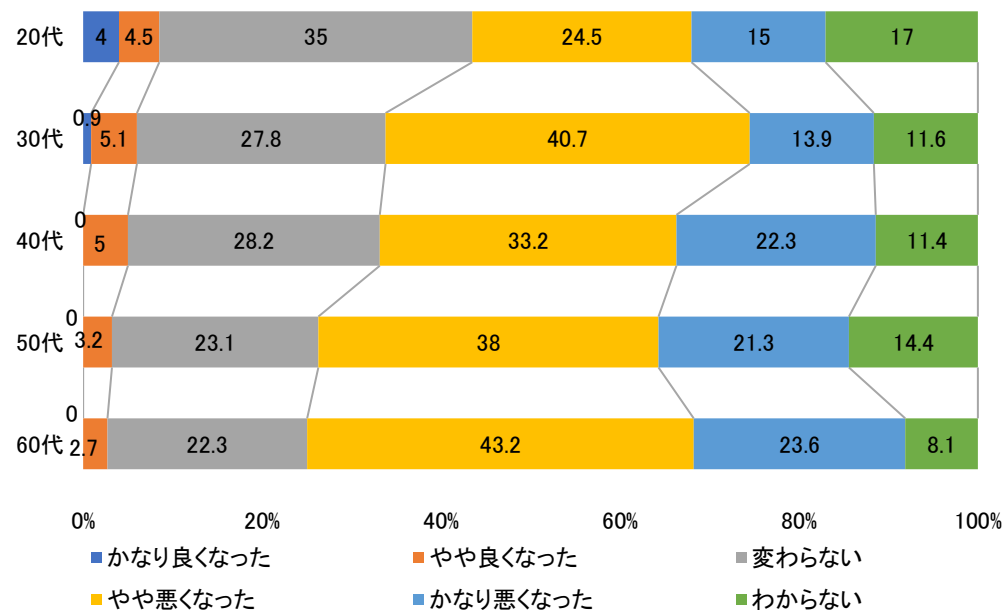


(1) コロナ発生前と比べた県内景気の変化 ―男女別・年代別・地域（ブロック）別―

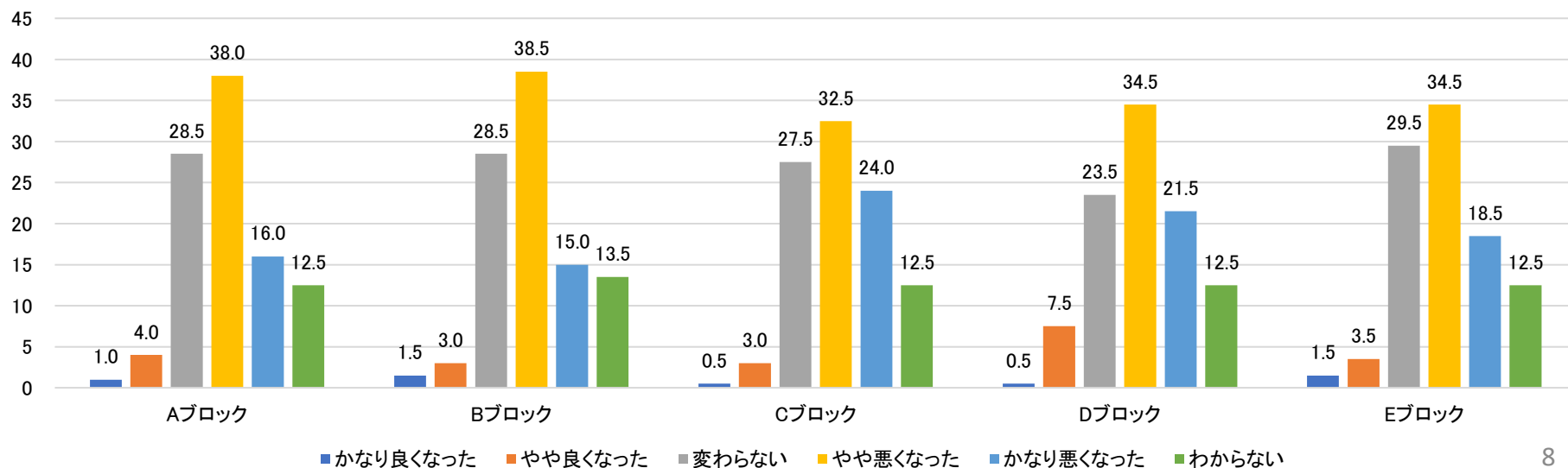
男 女 別



年 代 別

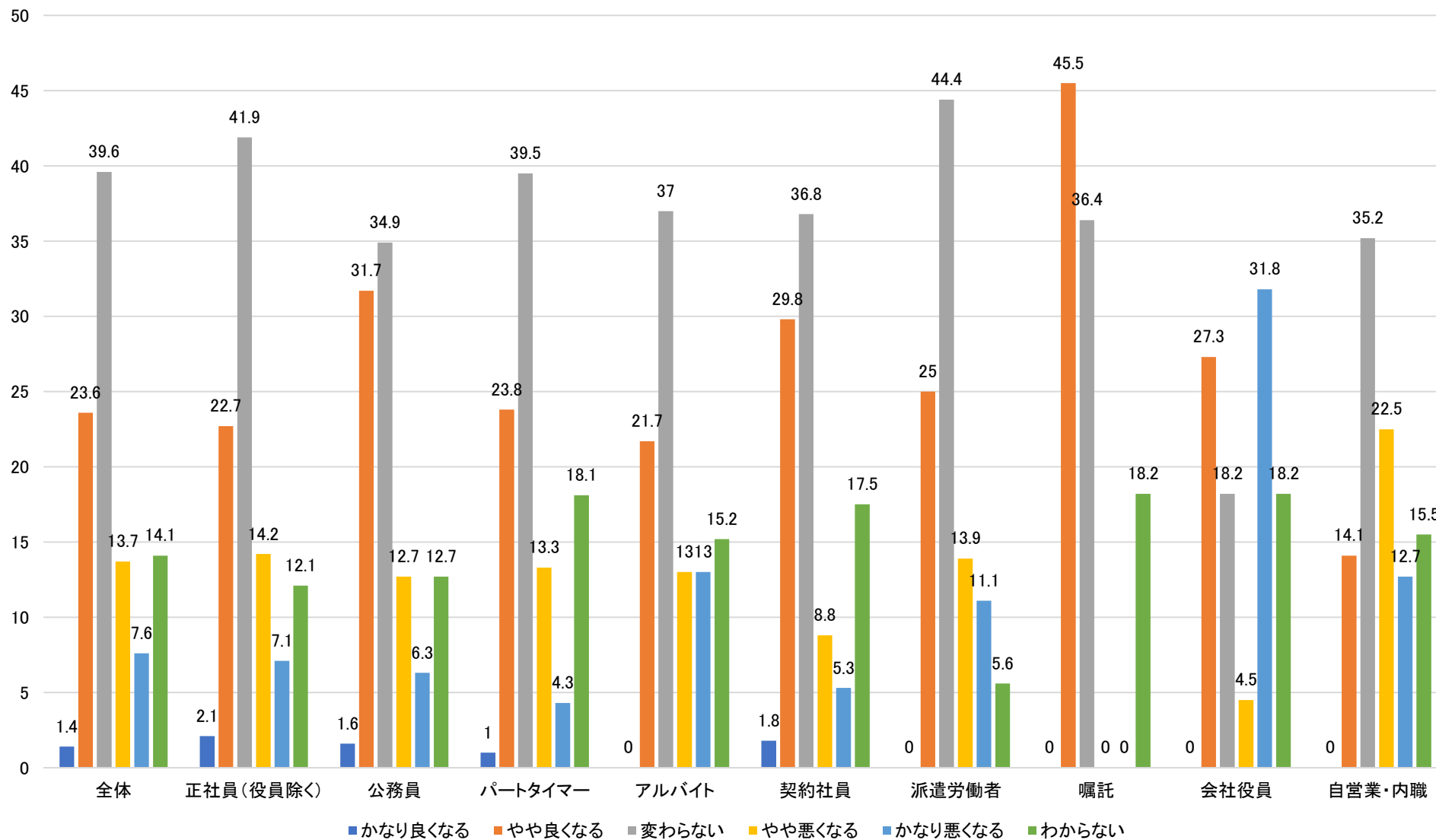


ブロック別



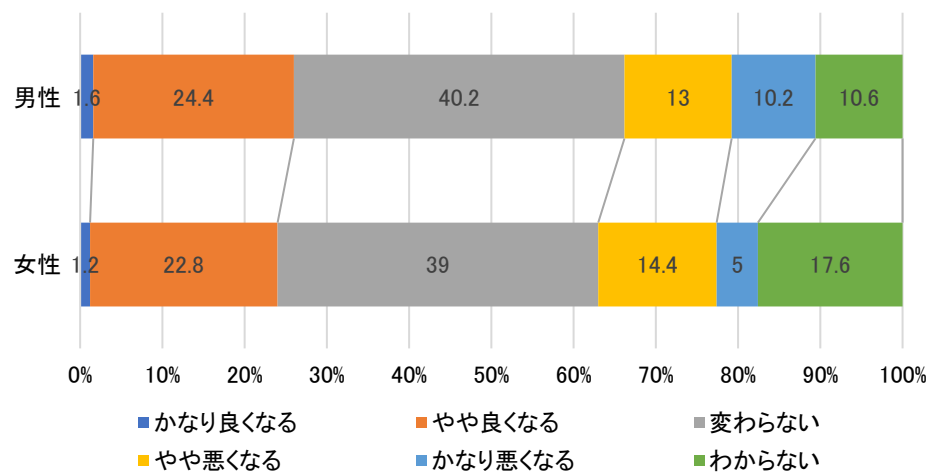
(2) 1年後の県内景気の見通し ―全体・職業別―

「その他」は省略している

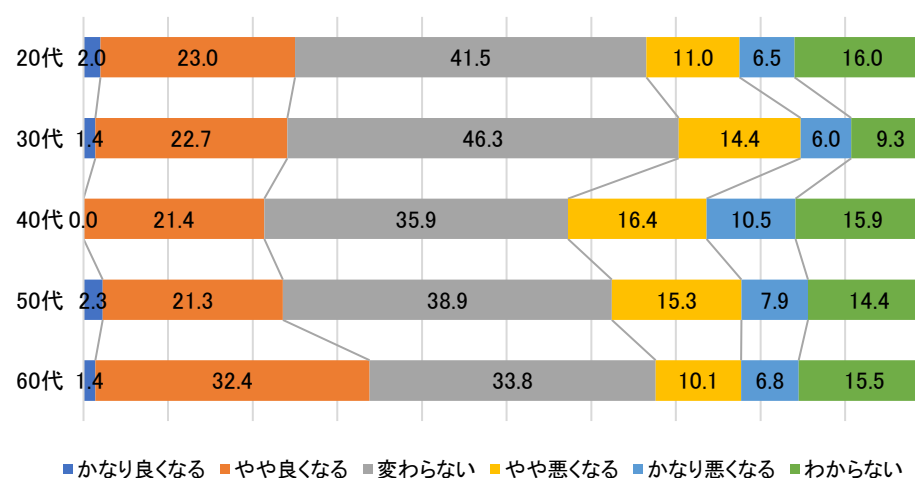


(2) 1年後の県内景気の見通し ―男女別・年代別・ブロック別―

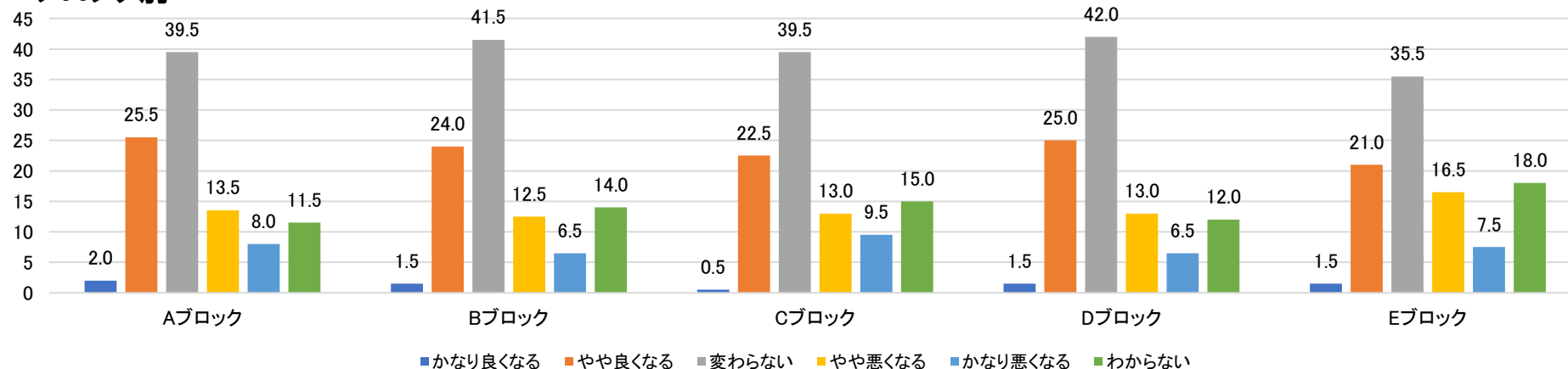
男 女 別



年 代 別

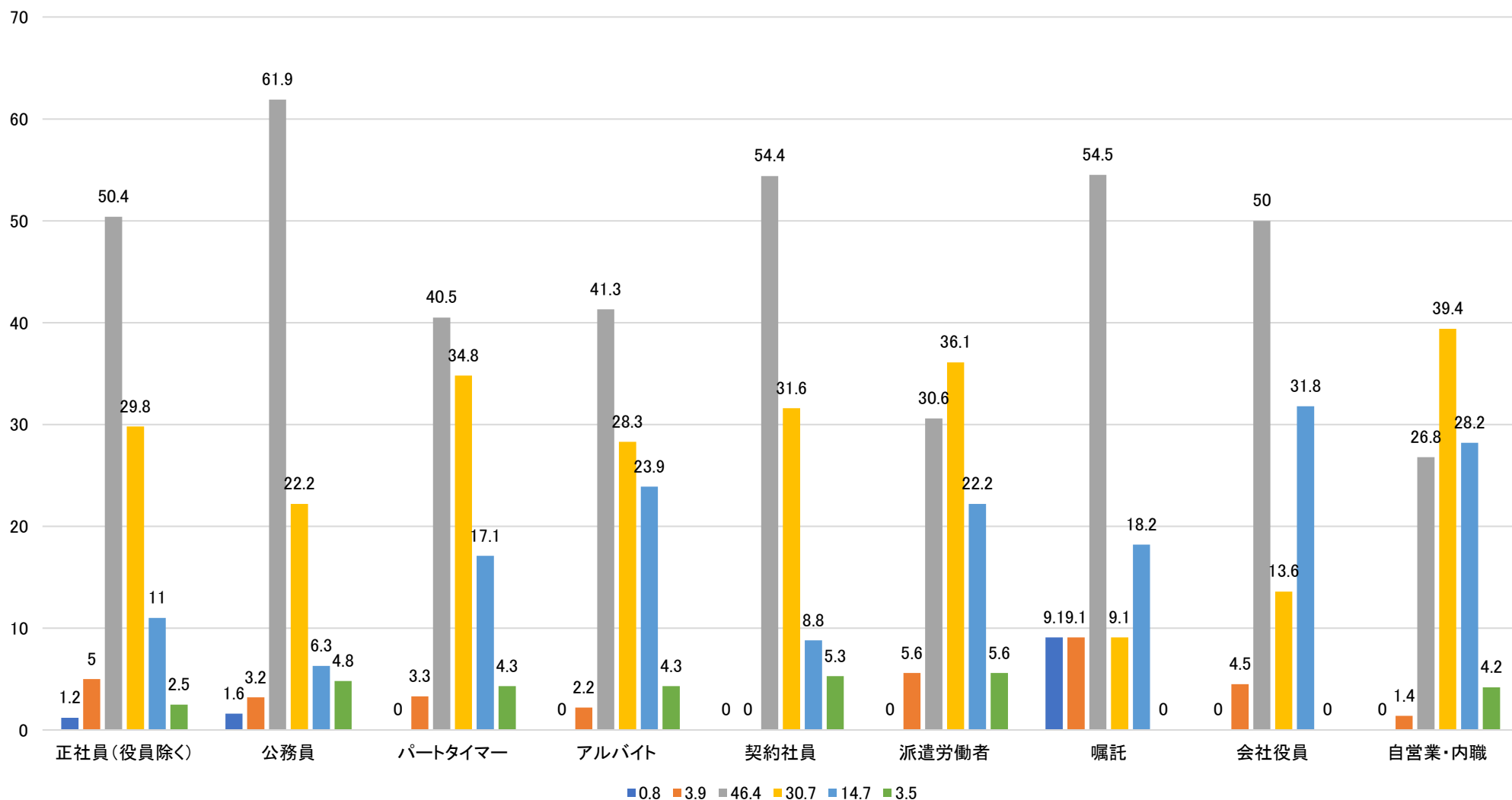


ブロック別



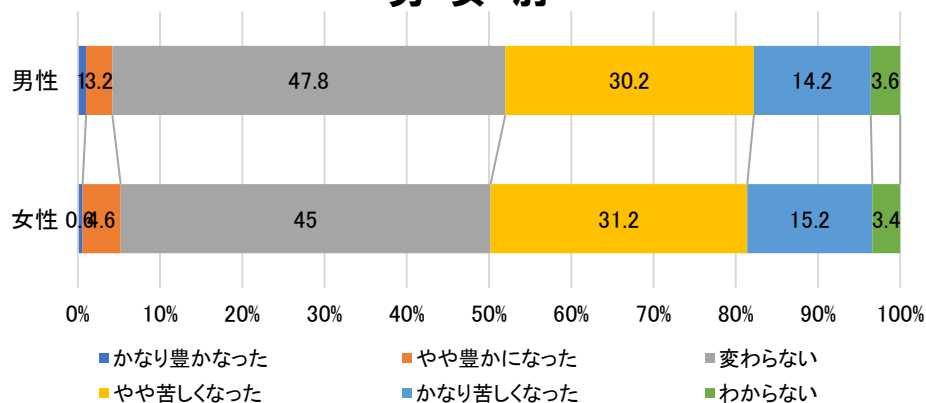
(3) コロナ前と比べた経済的な豊かさの変化 ー全体・職業別ー

「その他」は省略している

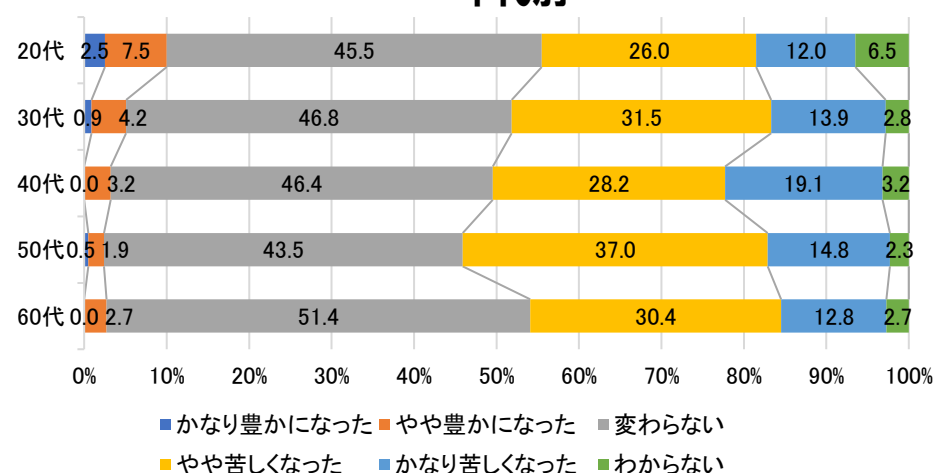


(3) コロナ前と比べた経済的な豊かさの変化 ー男女別・年代別・地域別ー

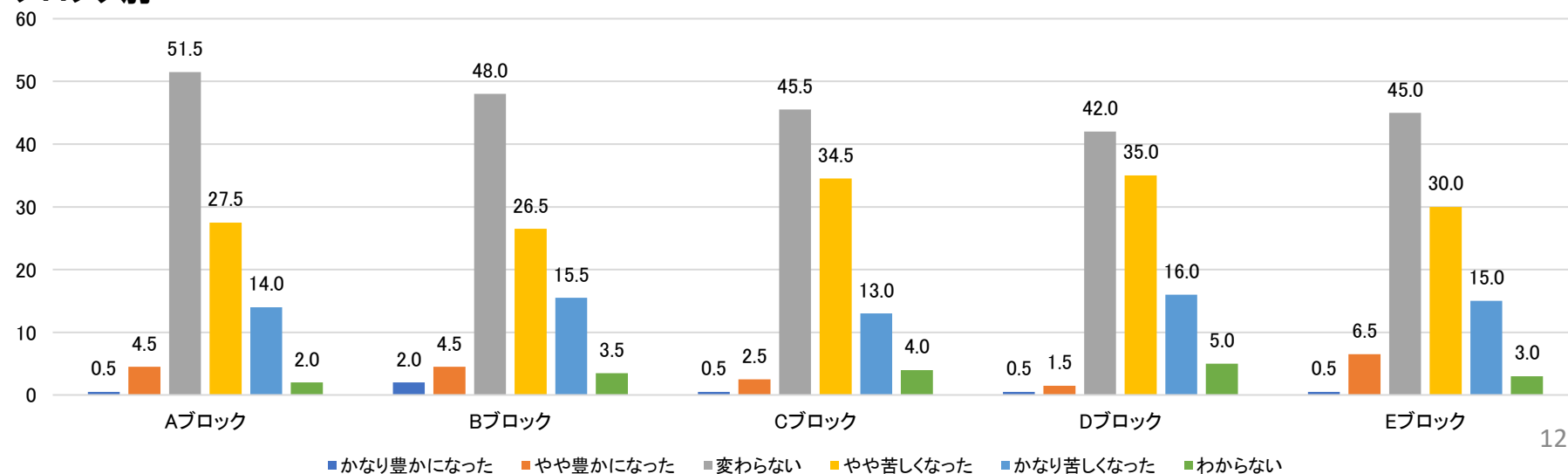
男 女 別



年代別

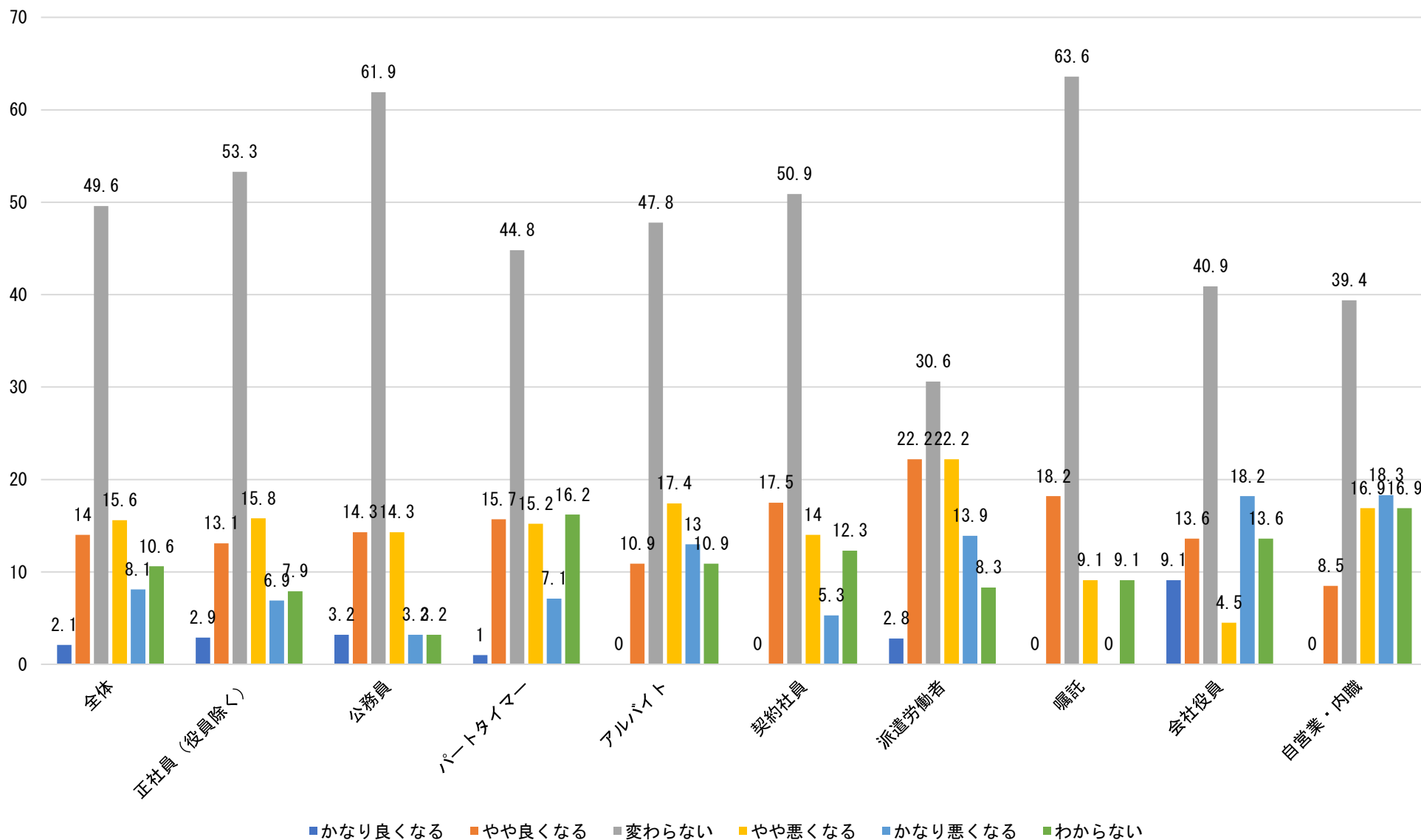


ブロック別



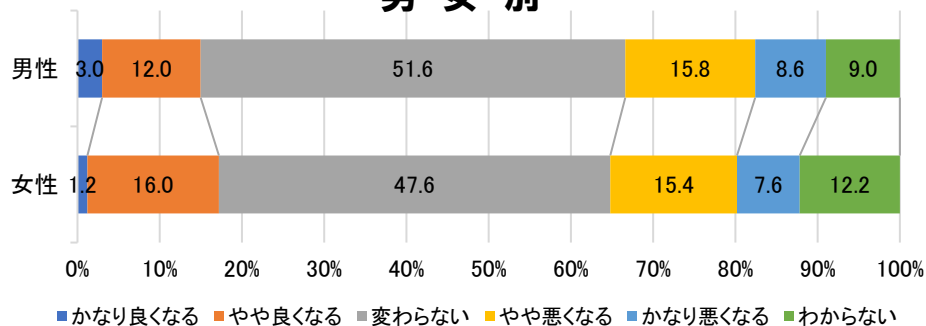
(4) 1年後の経済的な豊かさの見通し ー全体・職業別ー

「その他」は省略している

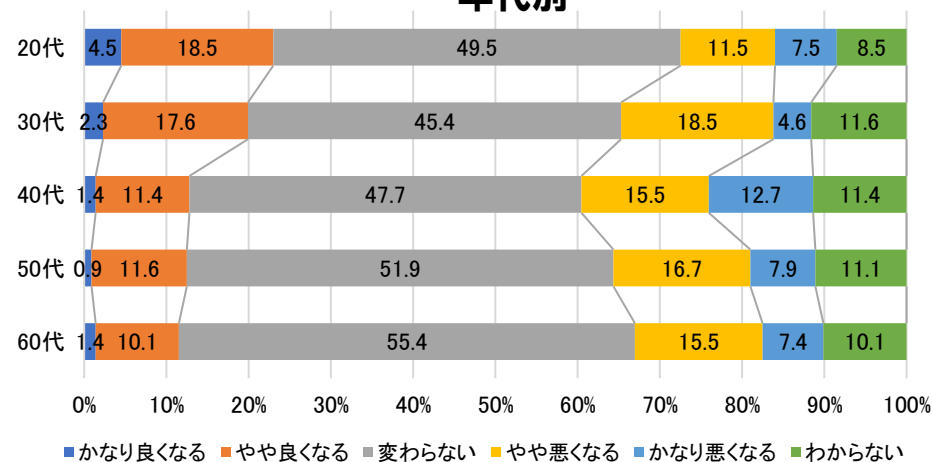


(4) 1年後の経済的な豊かさの見通し ―男女別・年代別・地域別―

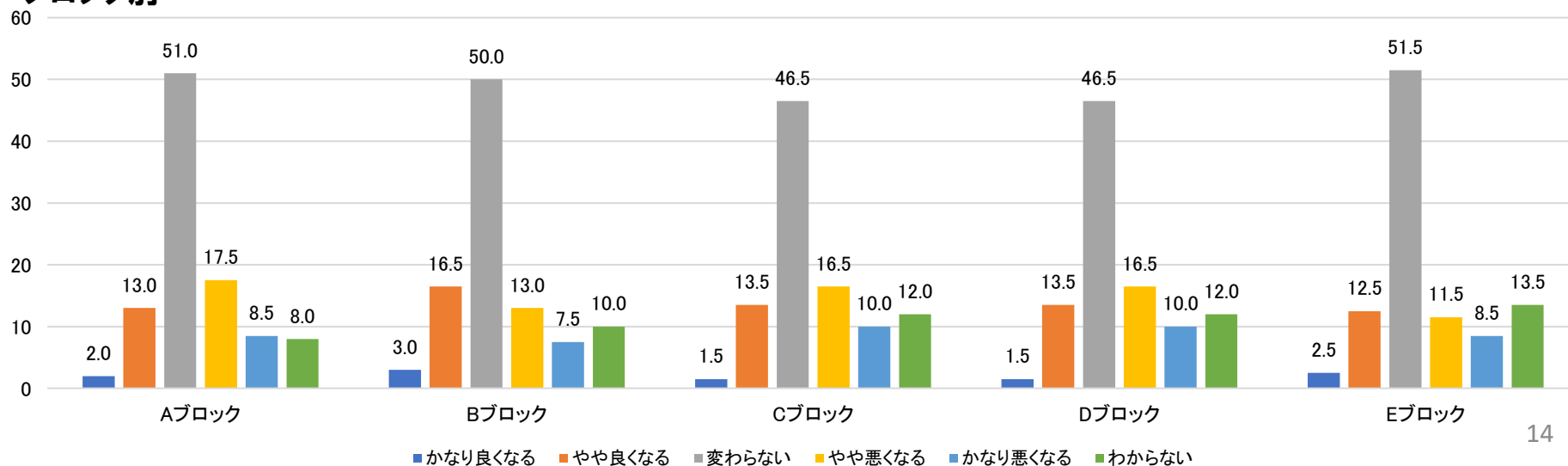
男 女 別



年代別

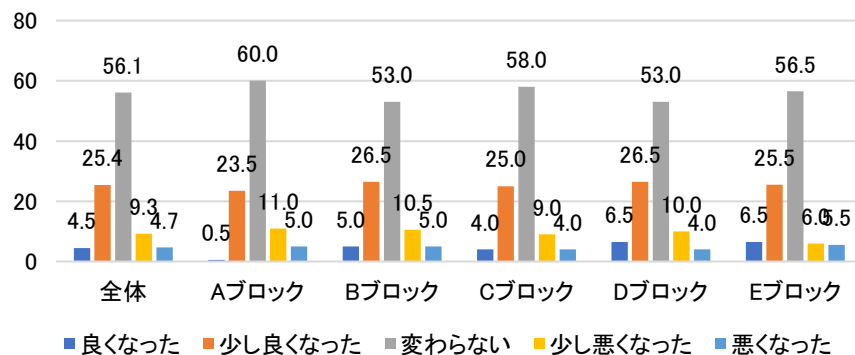


ブロック別

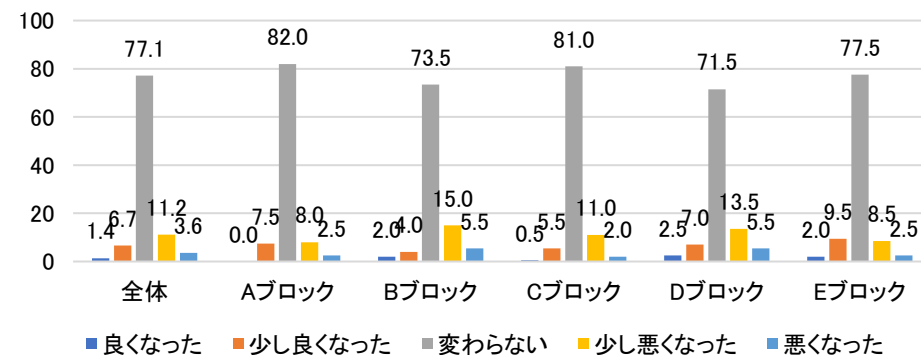


(5) コロナ禍前と比べた自治体の施策① ー全体・ブロック別ー

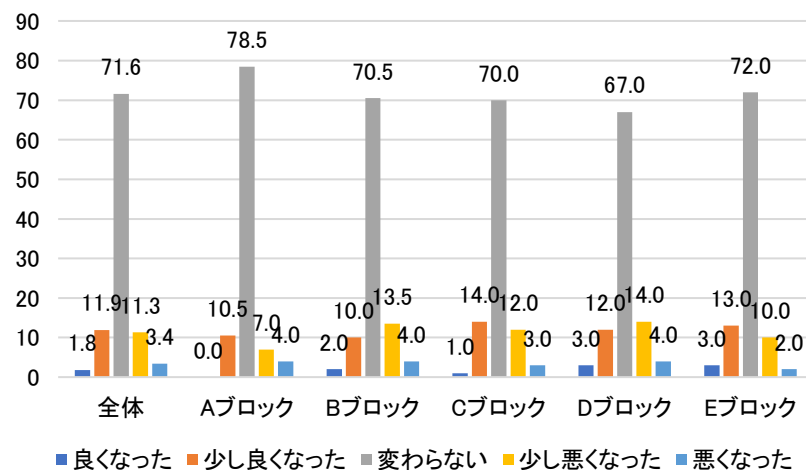
医療・保健衛生



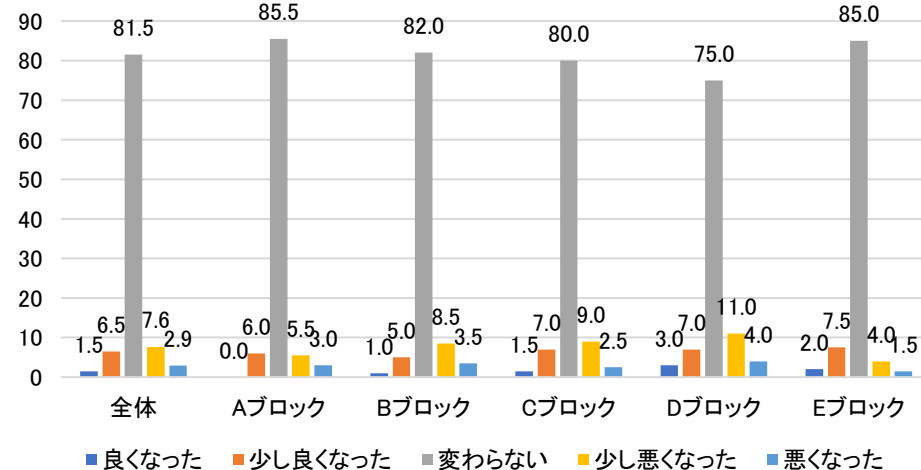
子育て



高齢者施策

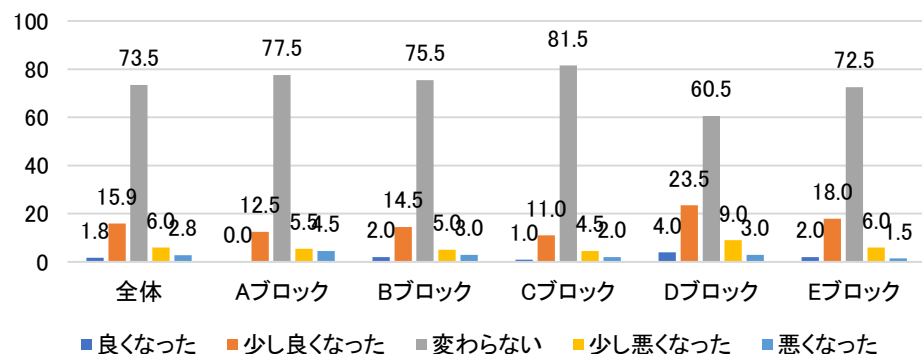


障がい者施策

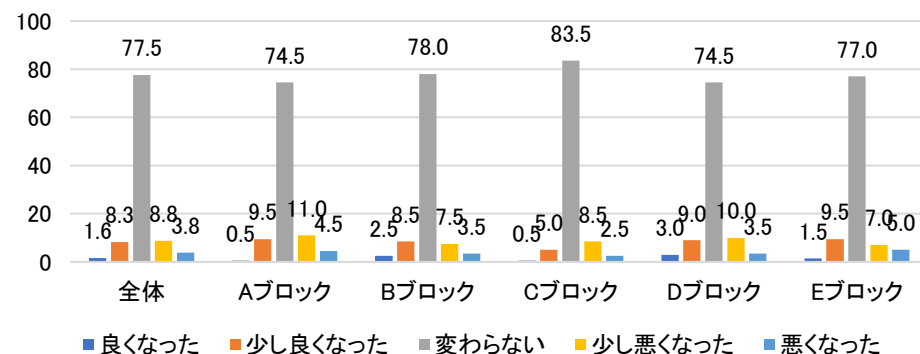


(5) コロナ禍前と比べた自治体の施策② ー全体・ブロック別ー

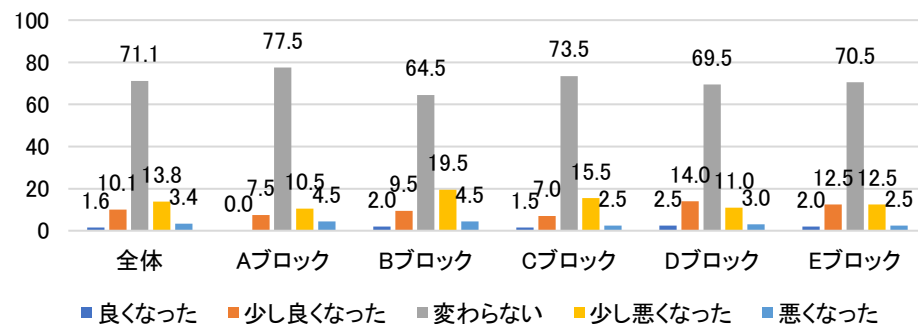
防災施策



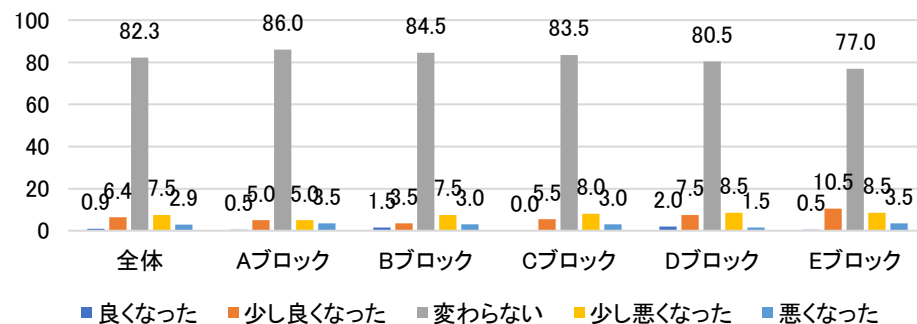
公共交通



学校教育

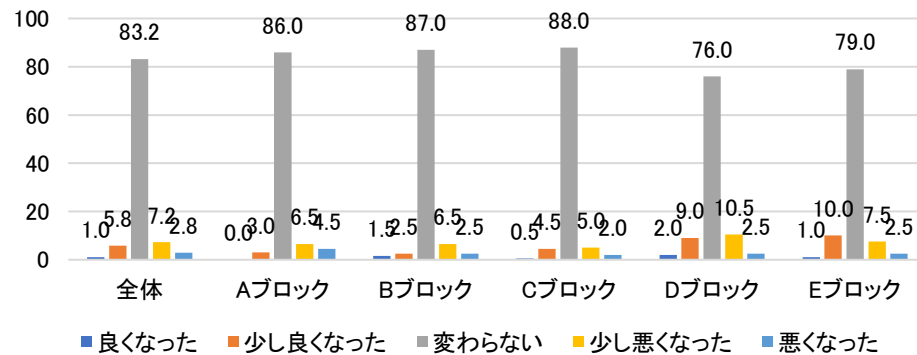


廃棄物処理・リサクル

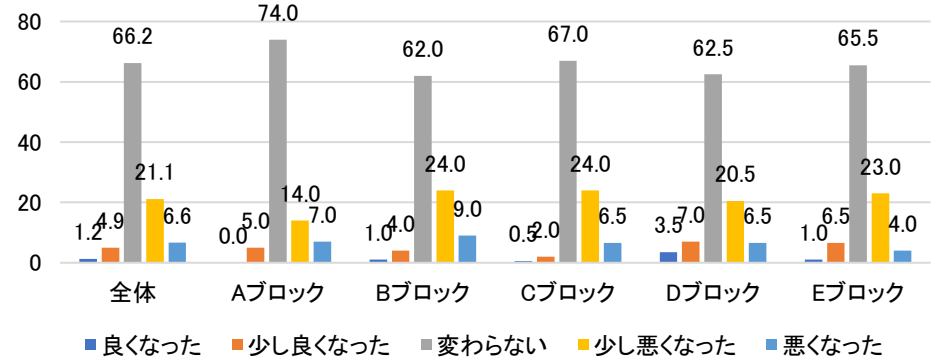


(5) コロナ禍前と比べた自治体の施策③ ー全体・ブロック別ー

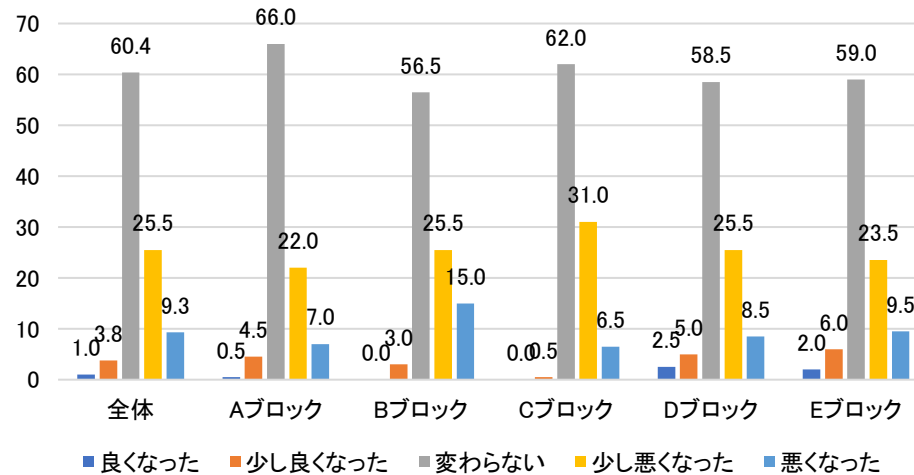
防 犯



文化・スポーツ振興

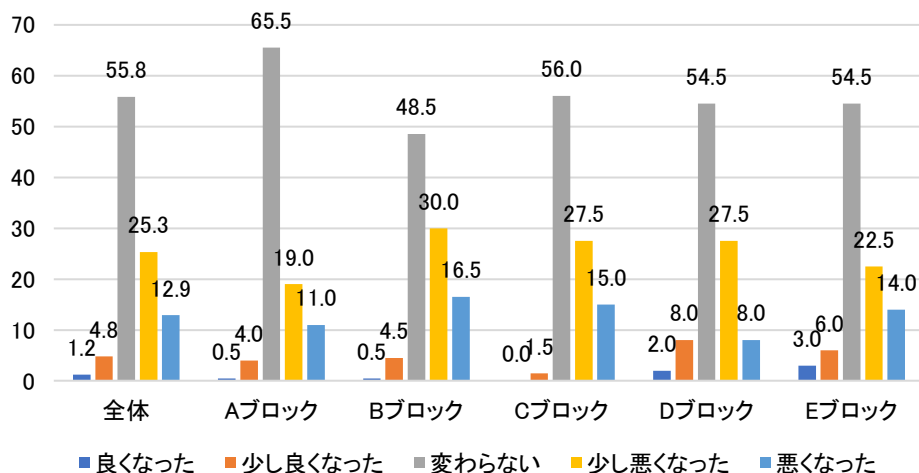


就 労

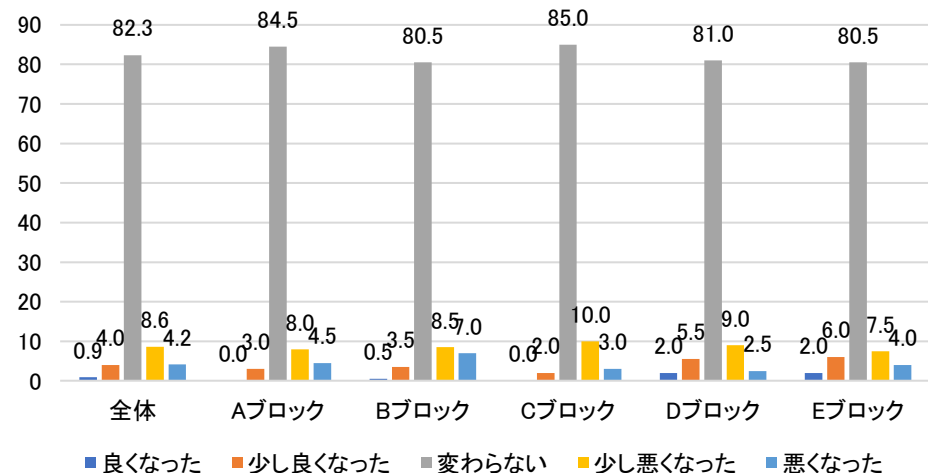


(5) コロナ禍前と比べた自治体の施策④ ー全体・ブロック別ー

産業・観光振興

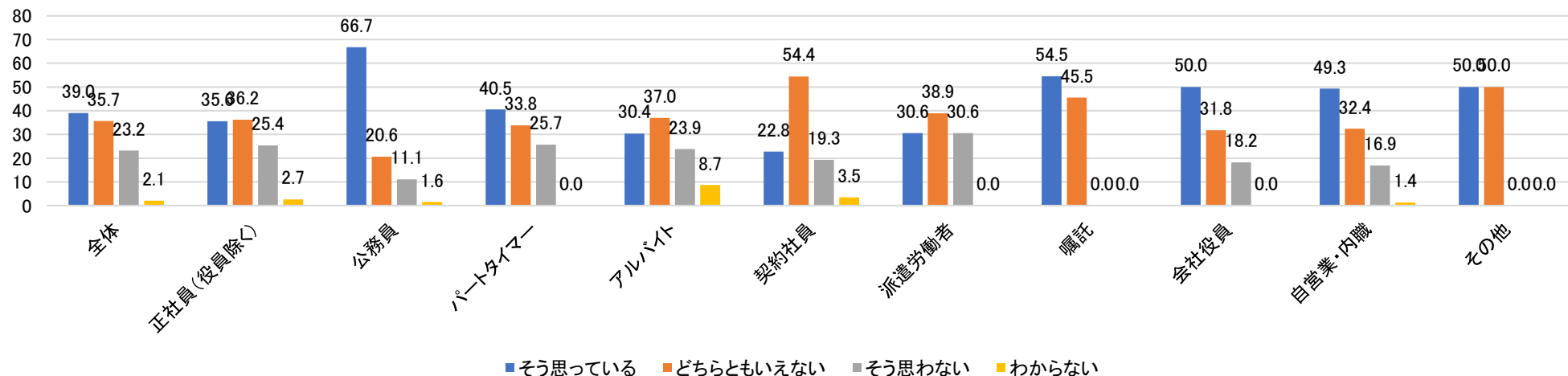


差別防止・人権擁護

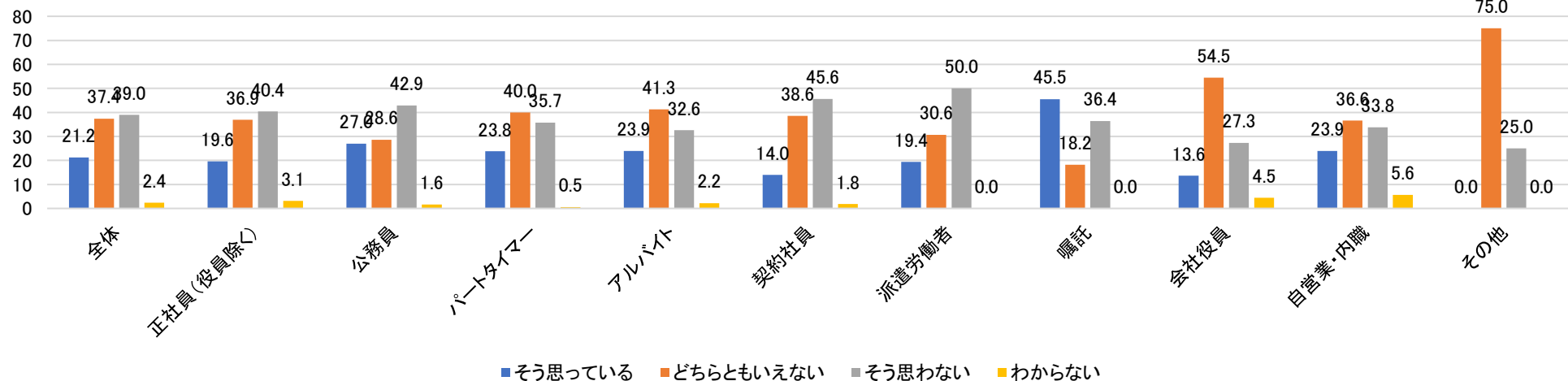


(6)現在の仕事について① ー全体・職業別ー

やりがいのある仕事

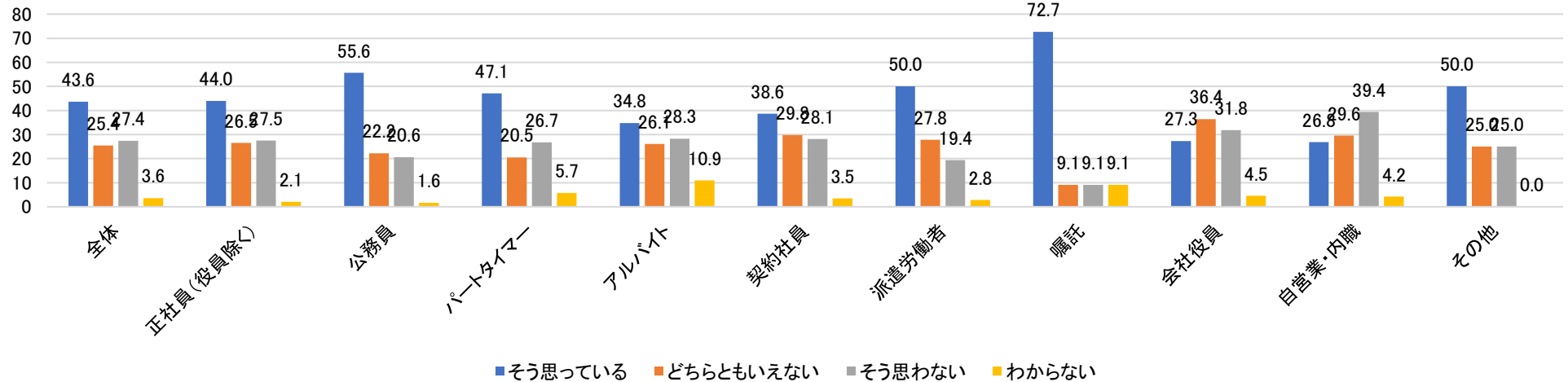


仕事に見合った賃金

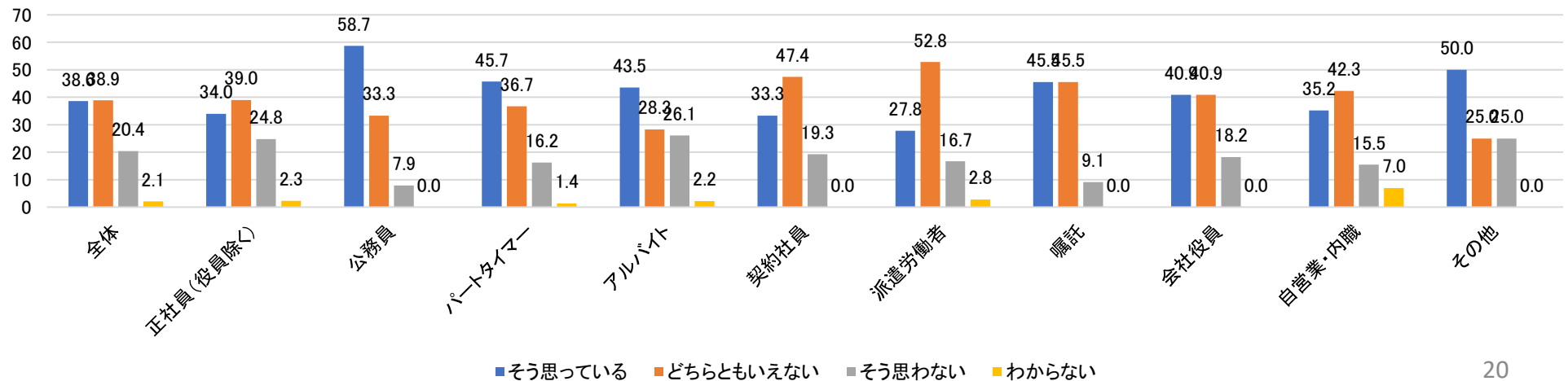


(6)現在の仕事について② ー全体・職業別ー

有給休暇が取りやすい

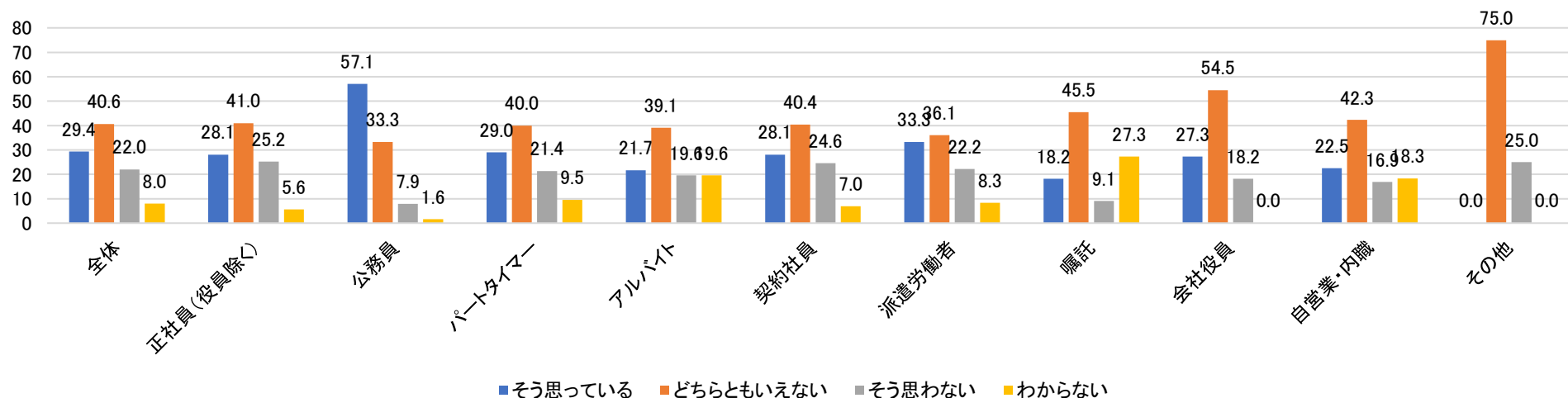


人間関係が良い

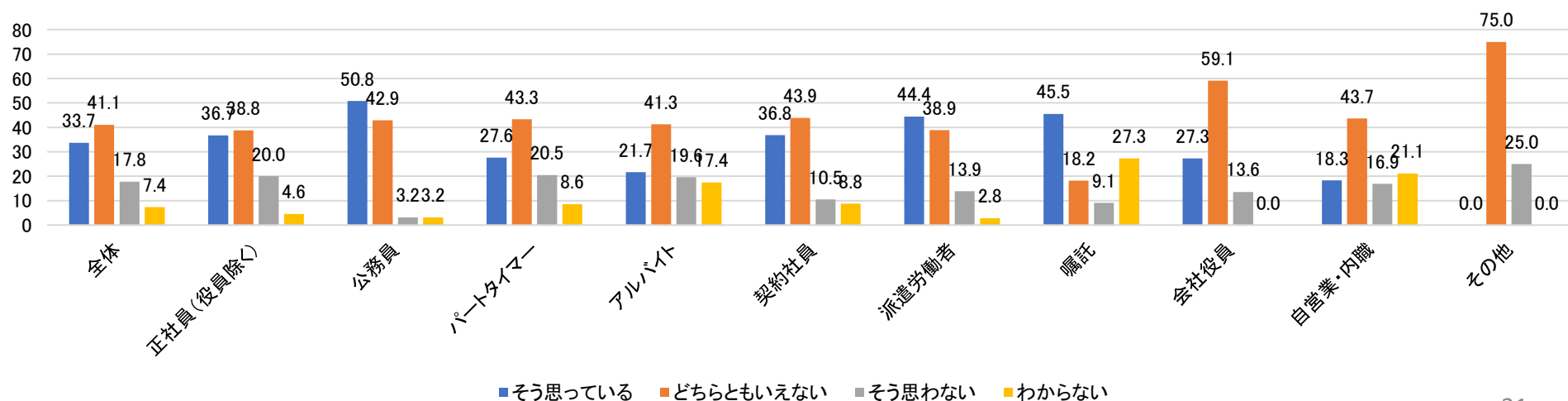


(6)現在の仕事について③ ー全体・職業別ー

ハラスメント防止に取り組んでいる

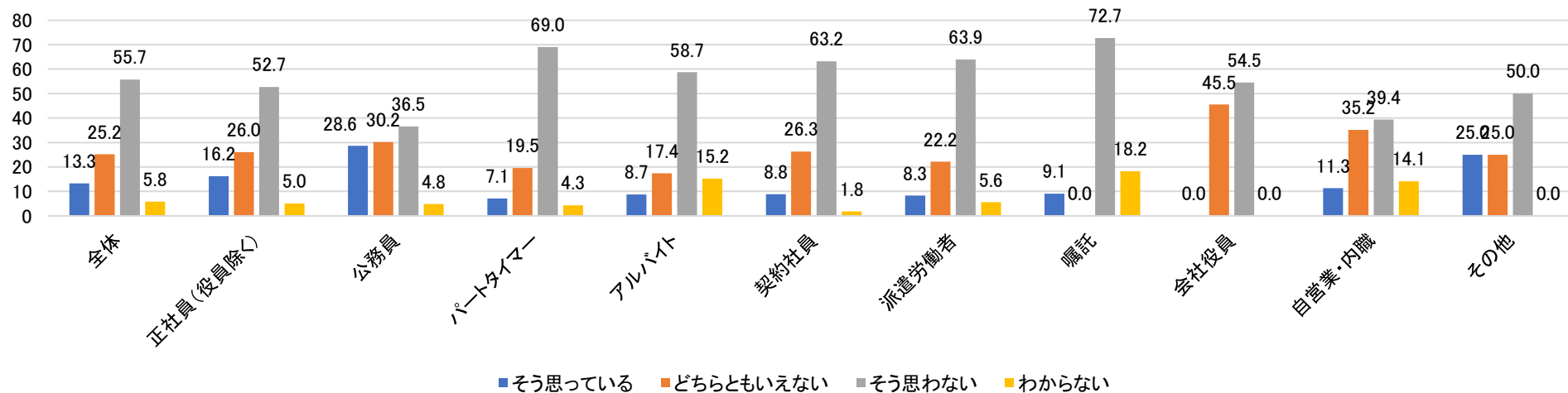


労働災害防止に取り組んでいる

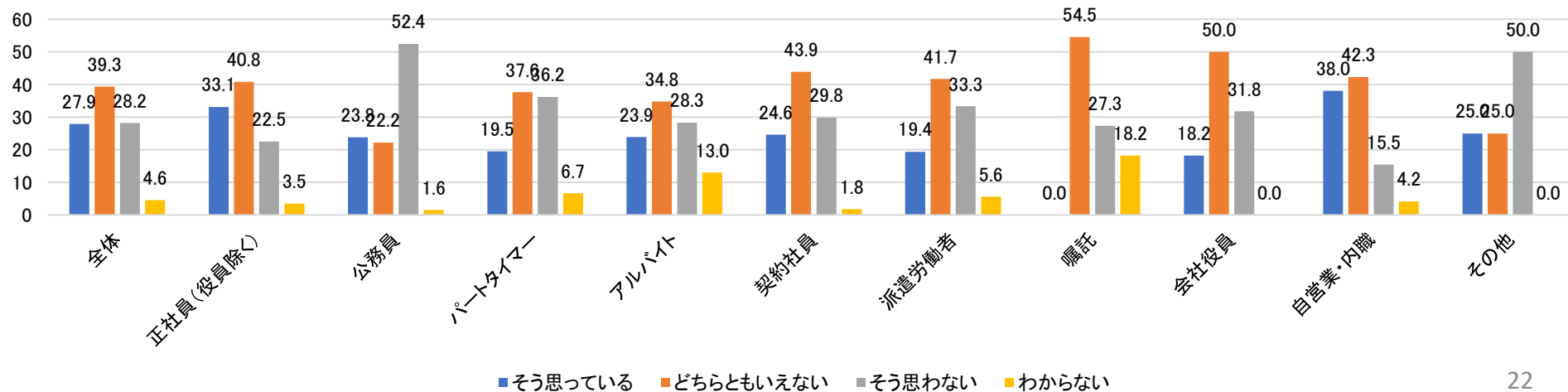


(6)現在の仕事について④ ー全体・職業別ー

サービス残業・未払い賃金がある

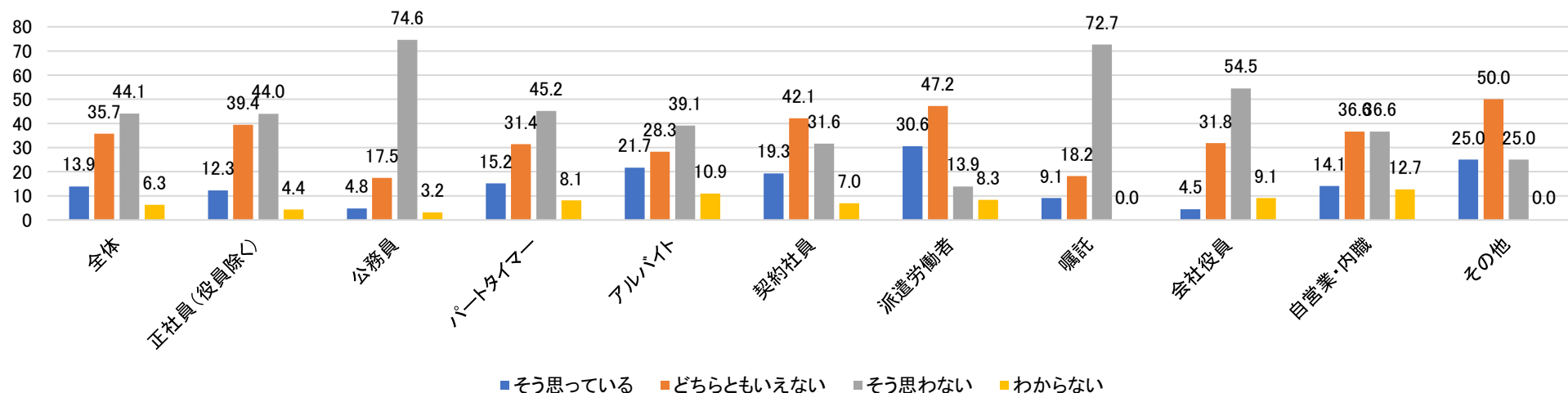


勤務先の将来に不安がある

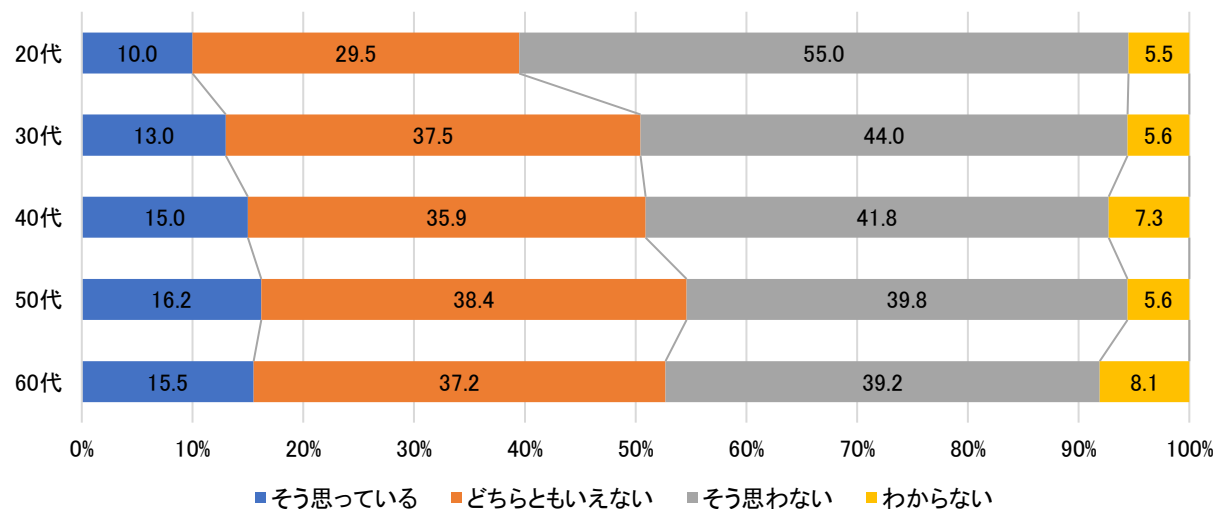


(6)現在の仕事について⑤ ー全体・職業別・年代別ー

解雇・雇い止めの不安がある【全体・職業別】

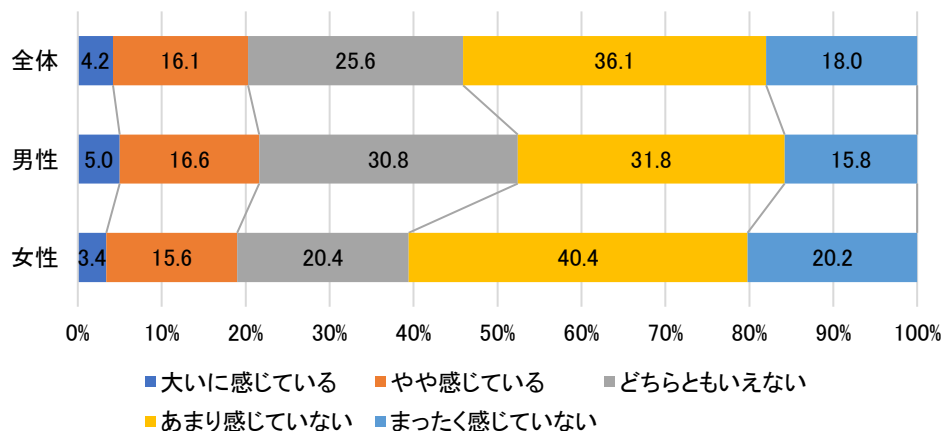


解雇・雇い止めの不安がある【年代別】

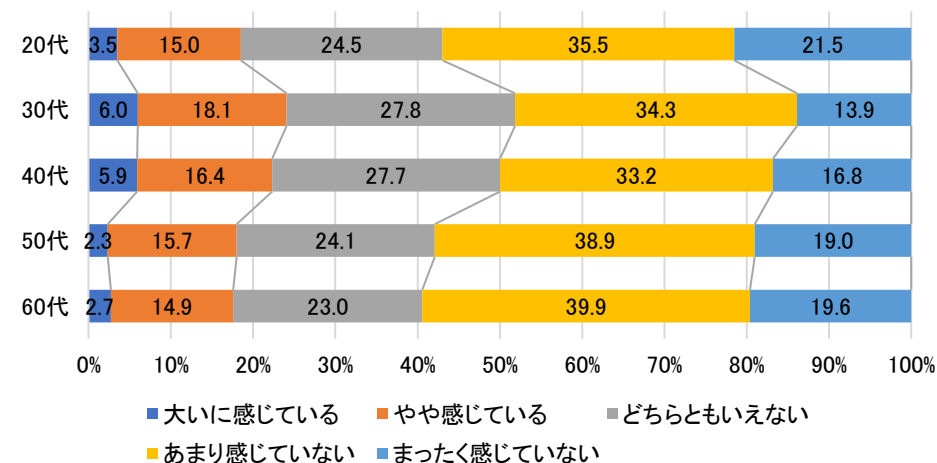


(7) コロナ禍における仕事での孤立感

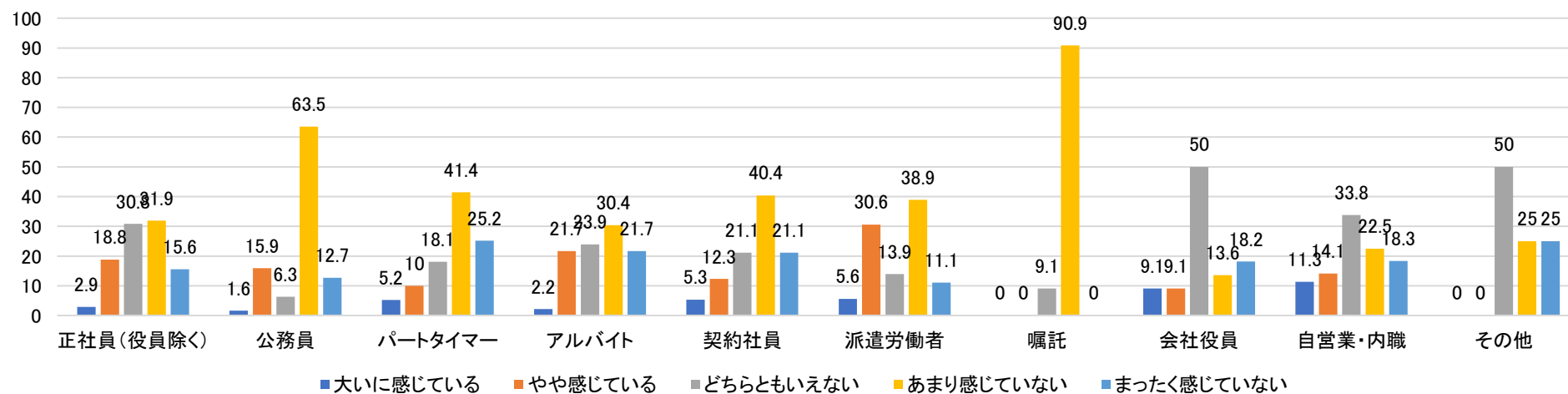
男女別



年代別

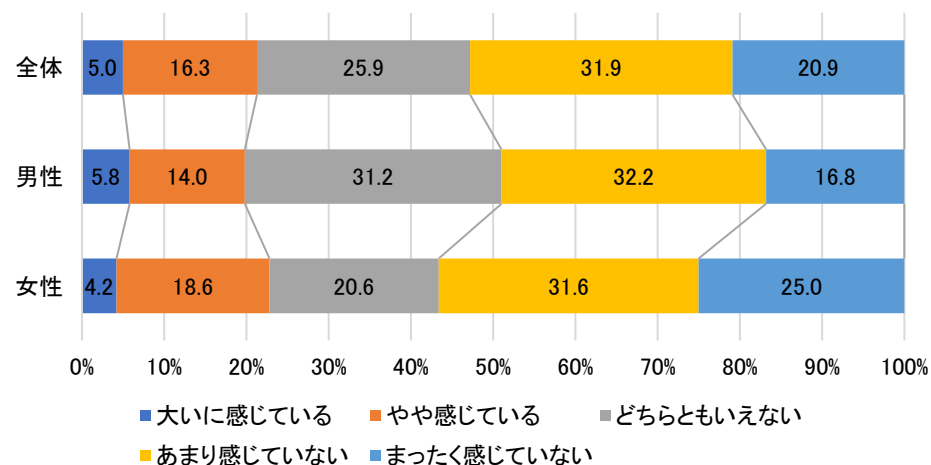


職業別

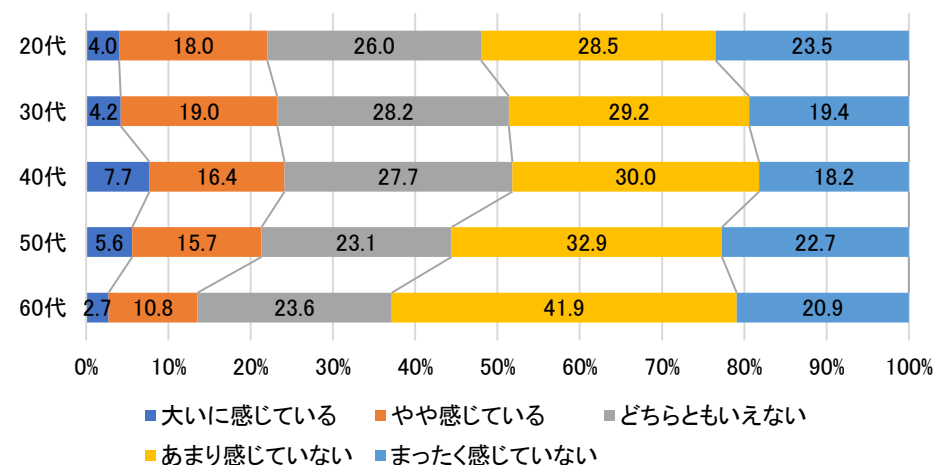


(8) コロナ禍における私生活での孤立感

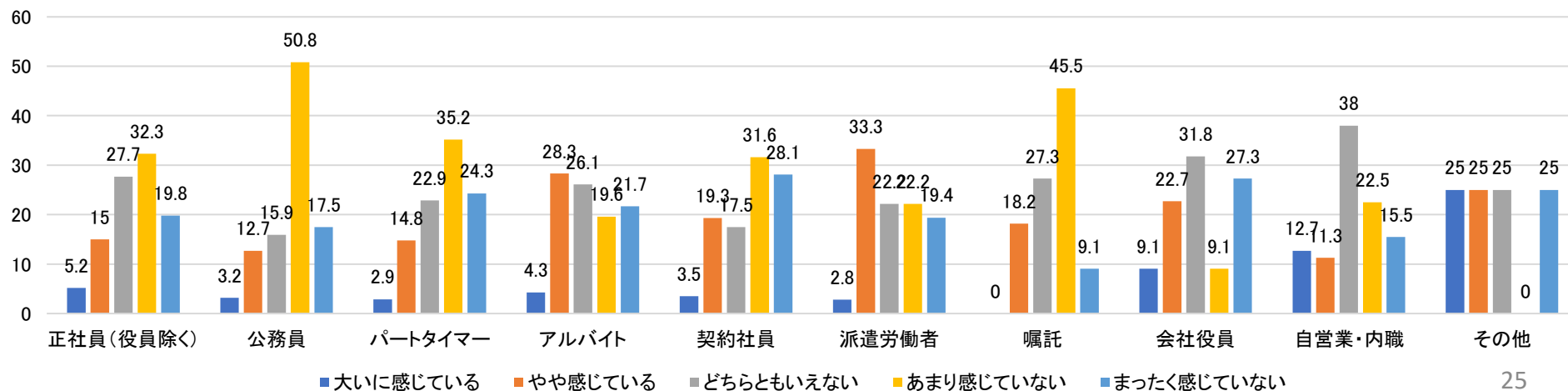
男女別



年代別



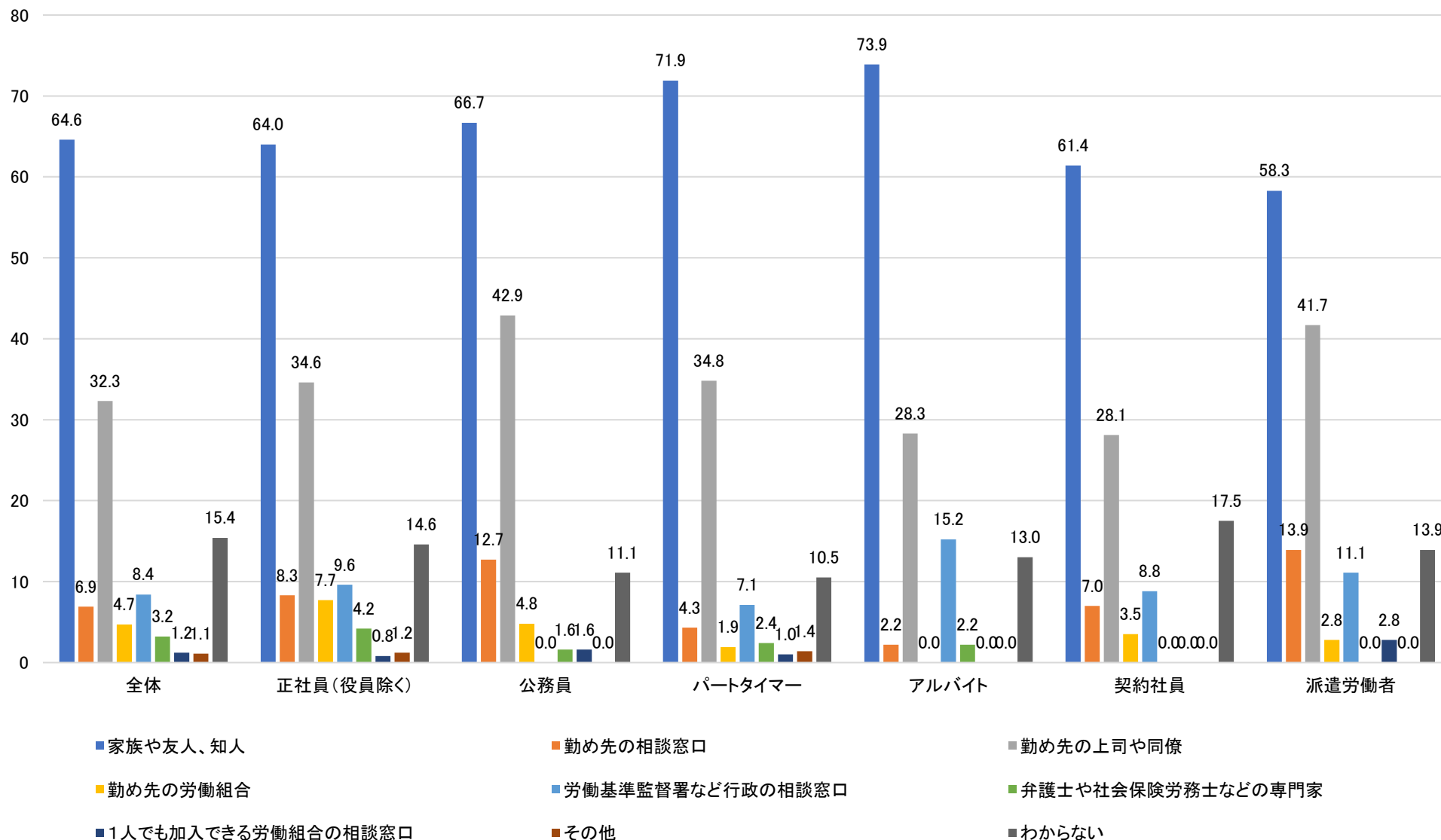
職業別



(9)職場の困りごとの相談先（複数回答） ―全体・職業別―

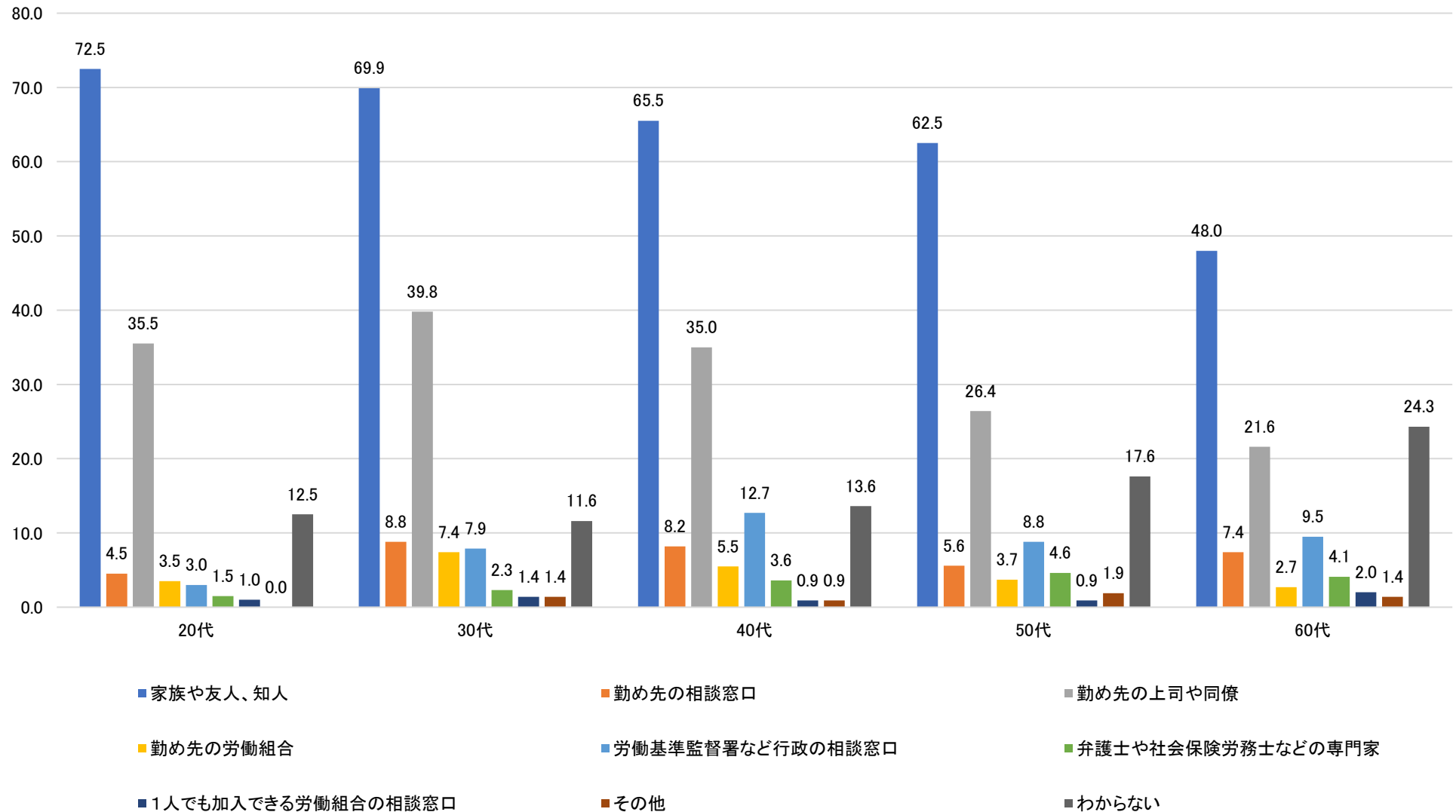
会社役員、嘱託、自営業・内職、その他は省略している

全体・職業別



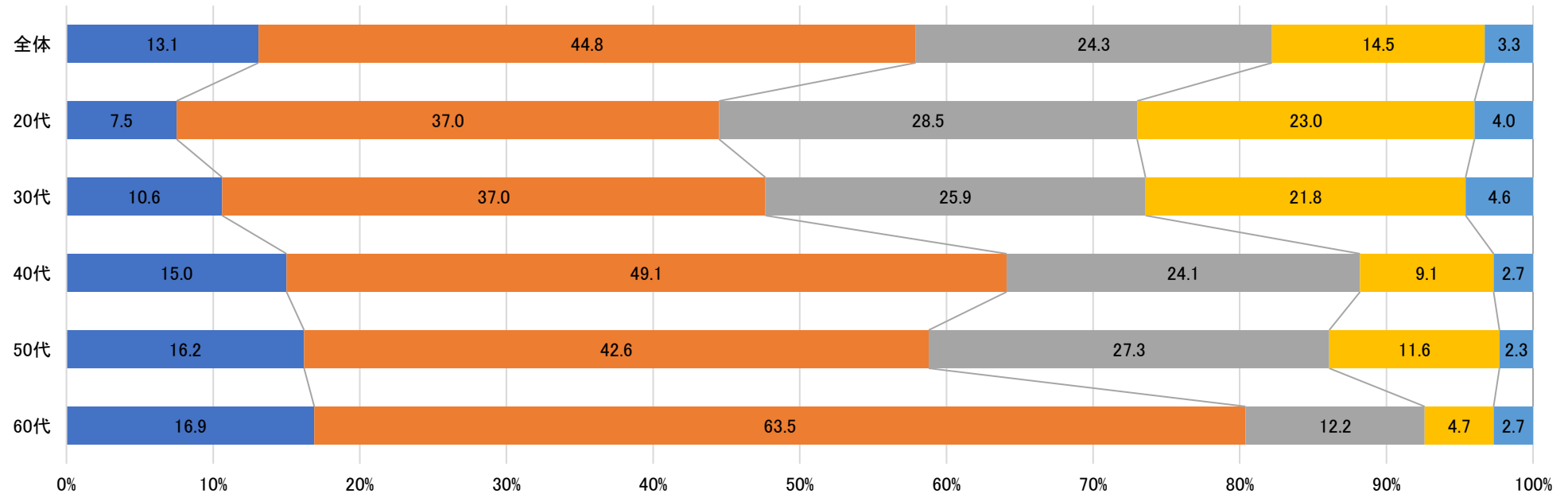
(9)職場の困りごとの相談先（複数回答） 一年代別ー

年代別

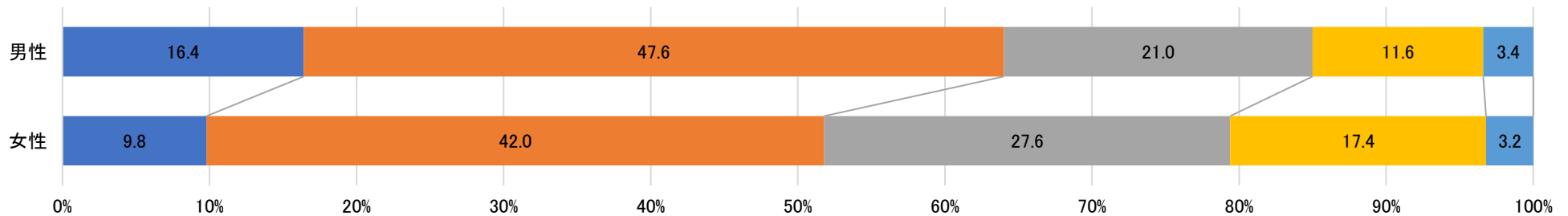


(10)第49回衆議院議員選挙の投票予定 ー全体・年代別・男女別ー

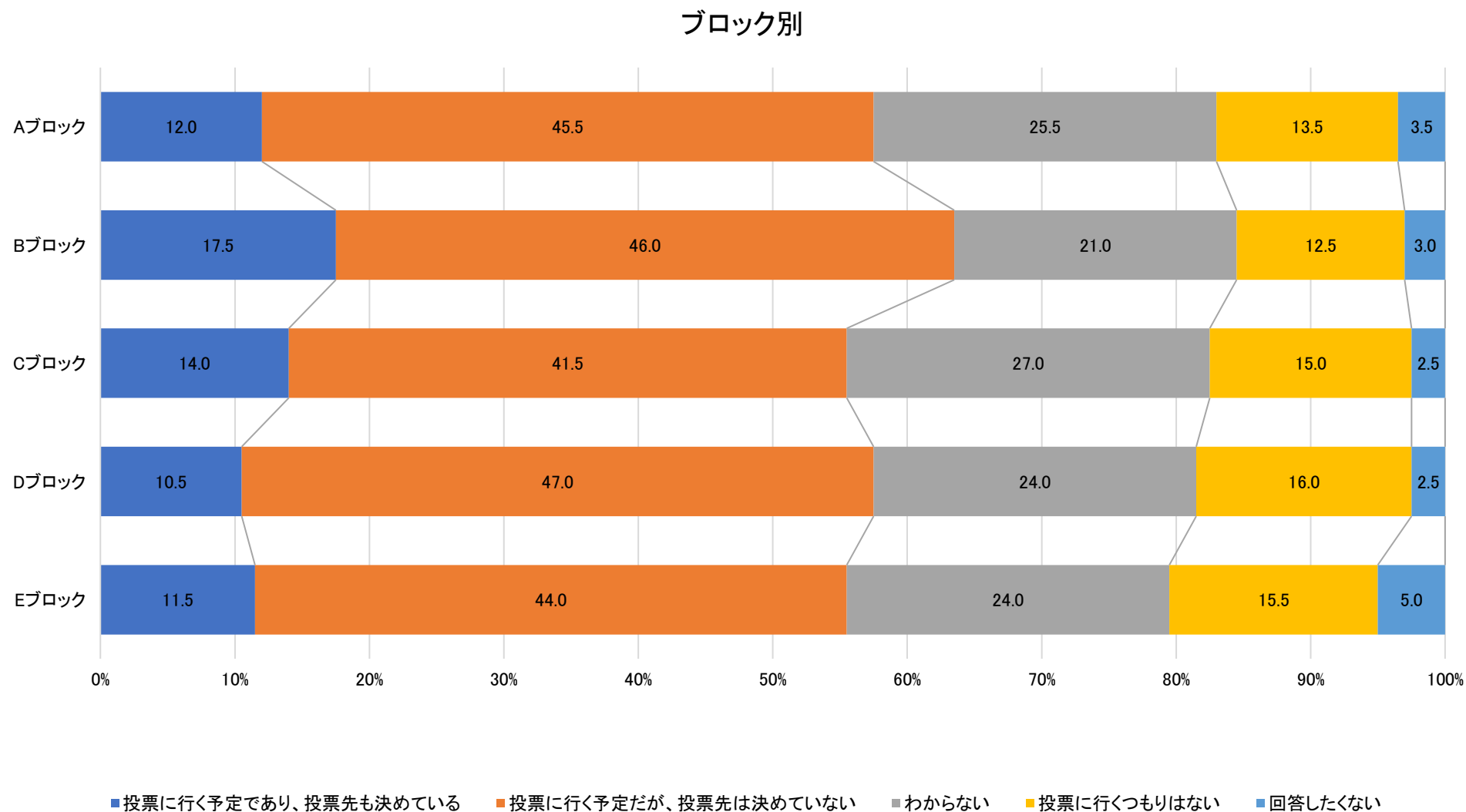
全体・年代別



男女別



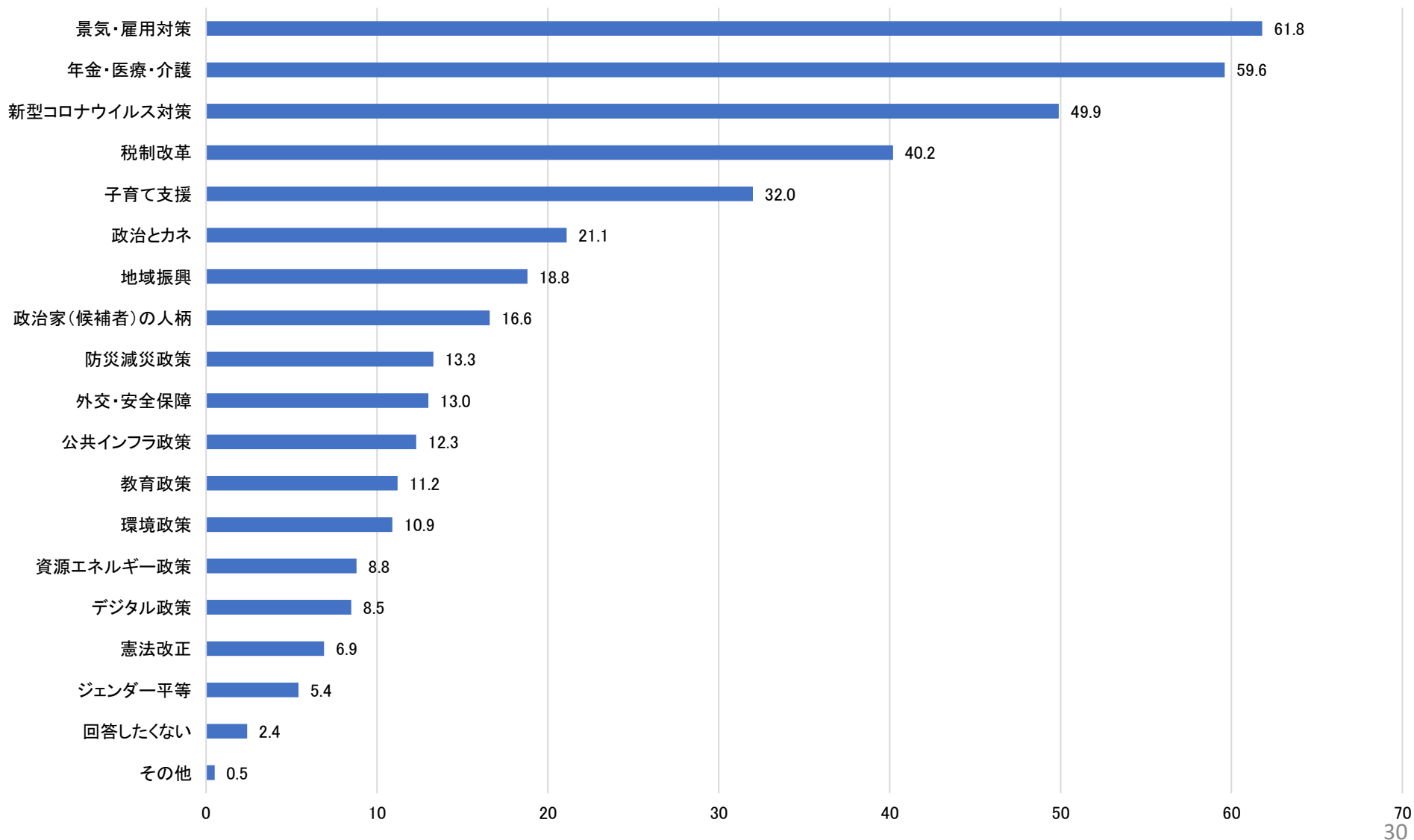
(10)第49回衆議院議員選挙の投票予定 ブロック別



(1 1)第49回衆議院議員選挙・投票の際に重視する政策（最大5つ） ー全体ー

（前問で『投票に行く予定』を選択した回答者。N=579）

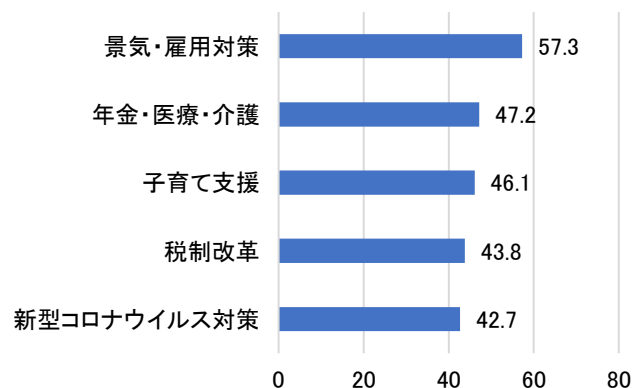
全体



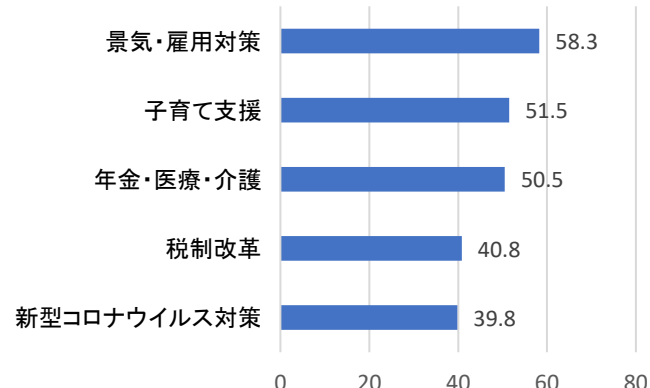
(1 1)第49回衆議院議員選挙・投票の際に重視する政策（年代別） —全体—

（前問で『投票に行く予定』を選択した回答者。N=579）

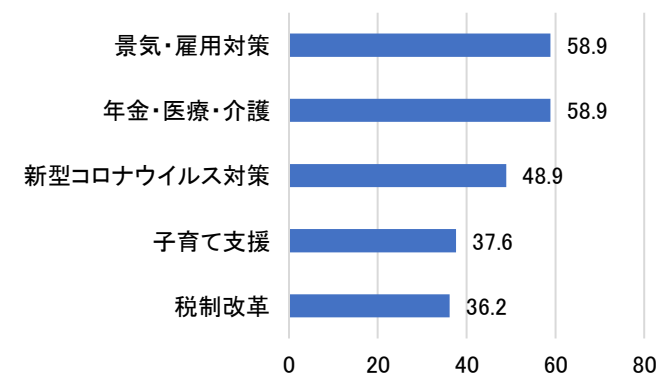
20代（上位5つ）



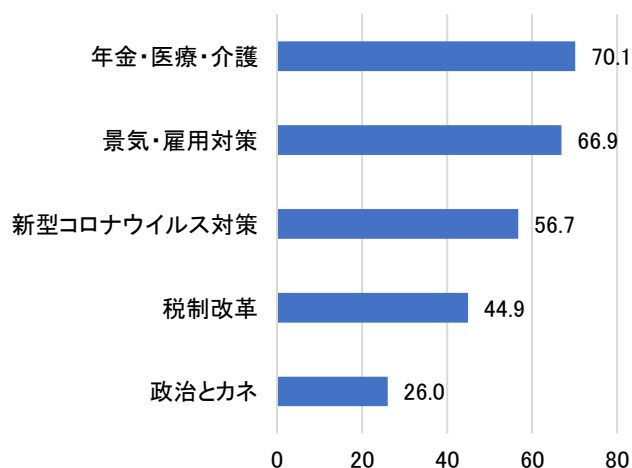
30代（上位5つ）



40代（上位5つ）



50代（上位5つ）



60代（上位5つ）

